

む

むいか (六日) 【名詞】 月の第六の日

むいかじお 【名詞】 旧暦六日の潮の干満。(鳥) [会話]
ムイカジオ。潮中のとぶくろやなあ (一番良く干く時です)。一番よお (よく) ひく時、五日潮や ムイカジオは 一番よおひくね (よくひくのです)。朝のうち (間) は よけ (あまり) ひかせんけど (ないが) 昼からなあ 七日潮やなあ (とか) そげな (そんな) 時 一番 潮ざかりやなあ (です)。五日、六日、七日ぐらいは 潮な (が) よお (よく) ひいてなあ 仕事すんのん (するのに) ええんてや (よいのです) 一番。

むいがら 【名詞】 麦桿。むぎわら。(三、鈴郡) [会話]
麦から。麦から言うの (のを) ムイガラや (と) 言うやんかい (言います)。ムイガラ取て来い (取って来い) 言うて。麦藁や (と) 言うて 麦藁 皆、焚いて ひと (一) ぼおし (集んで有る状態) 焚いたたら (とか) 言うて。“麦藁抱いて 〇〇屋 (家の名) へ走る 〇〇屋は、ねや (寝室) か ねどころ (寝所、寝室) か” 言うて。盆の音頭も有るやんかい (有ります)。 よお (よく) 忍びに 行きおったんやろ (行って居たのでしょう) 若い しゅな (衆が) 麦藁の有る時ん (に)。 〇〇屋 道より落ち込んどて (で居て) めえやへんもんで (見えないので) 何処へ 忍びん (に) 行きおったのなあ (行って居たのです)。麦藁を抱いて 麦藁を枕ん (に) すんのか (するの) 敷くか (のか) 知らんけど (知らないが) そんで (それで) 忍びおったんやろんなあ (忍んで居たのでしょう)。

むいご 【名詞】 麦焦がし。大麦を焦って粉にした物。香ばしく味のよい物で有る。砂糖を加え、そのまゝ食べてもよく、湯を加えて煉って食べてもよい。むぎこ。ムギイリコの略か (志 (志島、甲賀)) [会話] 煎って、ひく (粉にする) のを ムイゴ。はつたいこをなあ ムイゴや (と) 言うのなあ (のです)。

むいたはなし 【名詞】 本当の話。真相。(志 (神明、志島)) [会話] かあ (皮) ムイタハナシや (だ) 言うて。内緒しとんのを (しているのを) かあ ムイタハナシで言おなら (言うなら) 言う事やなあ (です)。 隠さんと (隠さずに) ありあげ (全部) を 話すのおを (のを) 正直に話すのおを ムイタハナシ言うねわいなあ (言うのです)。

むいて (向) 動作、作用の方向を表す。向って (北

(海山)、南) [会話] あっちゃ (あちら) ムイテ行けとか、こっちゃ (こちら) ムイテ行けとか、あちらへ行け言う事を あっちゃムイテ行け言うて。こちらへ行け言うのを こっちゃムイテ行け言うて。家い (へ) 行け、言やええよおなもんやけど (言えばよいのだが) 家ムイテ行け言うて 子供らを こちらへ来い言う時でもなあ こっちゃムイテ来い言うて。

むう 【名詞】 六。むの長音化した語。数を数える時にのみ使用。(志 (布施田)) [会話] ムウ言うなあ (言います)。ムウ なに (七) やあ (八) ここ (九) とお (十) 言うて。ひい (一) ふう (二) みい (三) よお (四) いつ (五) ムウ (六) なあ (七) やあ (八) こお (九) とお。こら とお言う人も有るしなあ (有ります)。

むえんほうかい (むえんほふかい) (無縁法界) 【名詞】

1) 行くえ不明。2) 海の水死体 (志 (布施田)、鳥 (国崎)) [会話] ₁₎ ムエンホウカイになつてたない (なつて行った)、判らんよおになつてくと (なつて行く) ムエンホウカイになつてたなあ (なつて行った)。なんでも (何でも) しなもん (品物) でも 無いよおん (に) なつてくと、あればな (あれば) 何処い (へ) やったねやあか (やったのだらうか) ムエンホウカイやな (だ) 言うて。しなもんでも言うんなし (言いますし)、にげ (人間) でも 行くえな (が) 判らんと (判らないと) ムエンホウカイん (に) なつてたんなあ 言うて。しなもん でも 何処かへやったて (失ってしまつて) あれも 此処らん (に) 有ったのん (に) 何処やら (かへ) いて (行って) ムエンホウカイや (だ)、かいもく (全然) 判らせんわれ (判らない) 言うて。探しても よお探さんと (ないと)。行くえ知れずになつた事を ムエンホウカイや (だ) 言うて。行ても (行つても) 行く先言わせんと (言わないと) 出ててから (行つてから) ムエンホウカイやれ (だ) 言うて。

むかい (むかひ) (向) 【名詞】 面と向い合う事。向き合つて居る所。むこう側。[会話] ムカイの家なあ (です)。自分 ムカイ合しえ (せ) の事を ムカイや (と) 言うてなあ (言います)。

むかい (むかひ) (迎) 【名詞】 来てもらうように、その人の所まで使いを出すこと、又その使いの人。むかえ。

むかいあう (むかひあふ) 【自ワ五】 対座する。互に相

手の正面を向く。正面を向いて座る。(南) [会話] ふたんな (二人が) 向き合わせ言うの。ムカイアウ、むきあわせや (だ) 言うの (のです)。むきあわせとか むかい おおてなあ (会って) とか言うてなあ。

むかい おおて (**むかい** おうて) 向いあつて。(伊) [会話] ムカイオオテ言うのも、むかいあうも 一緒にの事。ムカイオオトシノ (合っているのを) むき合わせ言うんなしなあ (言うのです)。後ろ向いとると (ていいると) 背中合わせ言うて、前向いとると (ていいると) むきよとる (向き合っている) 言うしなあ。むかいあう言うのは 二人が 顔 合わせとる (ていいる) 言う事。

むかい かぜ (**むかい** ひかぜ) (向風) 【名詞】 進行方向から吹いて来る風。[会話] わがとなとこいなあ (自分の所へ) 吹いて来る風を ムカイカゼで弱ったよお (困った) 言うて。道 歩いとても (ていいても) こっち向いて行くのん (のに) こっちから吹いて来ると 歩きのくい やんかい (にくいです)、風受けん (る) のをなあ ムカイカゼなあ (です)。そして 後ろから来ると 追い風。

むかい こぶ。むかいこんぶ 【名詞】 足関節前面に出来る座りだこ。(南) [会話] ムカイコンブ言うて、すわりこんぶ言うて、足の甲に出来るのを言うの (のです)。すわりこんぶとも言うし ムカイコンブとも言うし。こな (これが) 腫んで来ると 塩さんびよ (三俵) も食わな (なければ) 治らせんもんや (ないものだ) 言うて。

むかい ざけ (**むかい** びざけ) (迎酒) 【名詞】 むかへ酒の訛 (大言海) 二日酔を治すために飲む酒

むかい じょろ 【名詞】 結婚式の当日、お嫁さんの実家へお嫁さんを迎えに行き、式場迄付き合う女性。(松、多、度) [会話] ムカイジョロ言うのは 嫁さんな (が) 式すんのん (するのに) 来る時んなあ (に)、むかい に (迎えに) 行くの (のを)、それを ムカイジョロ言うの (のです)。そして 式な (が) 済んでから、ムカイジョロな (が) 又送ってくの (て行くのです)。式の始まる前は ムカイジョロ。終って家い (へ) 帰る時は おくりじょろ。

むかい ねんぶつ。むかえねんぶつ 【名詞】 盆の行事

むかい りる (**むかい** りる) 【他ア下一】 1) 迎える。嫁を家族の一員として呼ぶ。(北) 2) こちらに向かって来るのを待つ。[会話] 2) 迎えに行く言わんと (言わずに) ムカイニク言うの な (です)。今日はまあ誰それな (が) くんの で (来るので) 浦い (へ) 迄

ムカイン (迎えに) 行て来たよお言うて。はよ、ムカイン (早く迎えに) 行てこんかれ (行て来なさい) 言うて。昔や 伊勢からくんのん (来るのに) 巡航船で 降りんのん (降りるのに) はよ 浦い (へ) ムカイン行け言うて 迎えるやなしん (でなくて) ムカイルやなあ (です)。1) 嫁さん来て貰う言うのも ムカイル言うて。

むかい りんく 迎えに行く むかいりる参照

むかい りんけ 迎えに行け むかいりる参照

むかう (**むかふ**) 【自ワ五】 1) 対座する。座る。身の前面に有るもの。人に向く。(志 (御座、越賀、浜島、布施田、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、松、尾、南) 2) 正座する (志 (越賀)、鳥、北) [会話] 1) 座る事な (です) ちんと (きちんと) 座つとると な (て居ると)。ムカウ ムコトレ (座っておれ) 言うて 座つとれ 言うの (を)。腰掛けとんな (て居るのは) 腰掛けで、畳い (へ) 座んの を (るのを) 座つとんのお を (て居るのを) ムカウ。お おひざ かい ても (あぐらで座っても) ちゃんと (正しく) 座つとても (て居ても) 畳の上へ。畳い (へ) ムカウ、其処らへムコトレ マ (座って居なさい) 言うて。

むかう な。**むかう** な よ お 座るな 座ってはいけない [会話] あの人 しら ちな が ちや よ つて (子宮癌だから) むこた (座った) 後へ ムカウナヨオ言うて。

むかえ (**むかへ**) (向) 【名詞】 正面。あちらがわ。道を隔てて対面する家。(南、熊) [会話] むこおの家 いて (行て) 来い言うの (を) ムカエの家 いて 来い言うてなあ。此の家と あの家と 向い合わせやも んで な (なので) むこお言うの (を)、ムカエ言うてなあ。ムカエの家 いて 来い言うてなあ 向い合わせとると (ていいると)。

むかえ (**むかへ**) (迎) 【名詞】 1) 来る人を準備して待つこと。来て貰うように、その人の所に使者を出すこと。2) 冥土からの使者。[会話] 1) 出迎えに行く事を ムカエに行く むかい に 来たれ (迎えに来ました) 言うてなあ。ムカエな (が) 来たれ (来た) 言うてなあ。おかた (大体) むかいや な (です)。むかいいん (に) 行て (行て) 来いとか むかいい な (が) 来たれ 言うてなあ。2) あの世界から ムカエな (が) 来たれ言うて むかいい や (です)。1) あの人な (が) 来てくれる言うたけど 此処来たこた ねえし (事は無いので)、家、知らん や ら (か) 判らせん よ つて (ないから) ムカエん (に) 行て来ると ええん や れ

(よいのだ) そこらい (其のあたり) 迄行て むこて
(迎えて) 来い言うてなあ。

むかえ 座れ、座りなさい (志 (甲賀))

むかえざけ (むかへざけ) (迎酒) 【名詞】 宿酔を治そう
として飲む酒

むかえみず ポンプの水の出ない時、呼び入れる水

むかえる (むかへる) (迎) 【他ア下一】 嫁を婚家に入れ
る。

むがくまりっぱ 【名詞】 学問の全くない人。[会話] じ
い (字) も、なんも (少しも) 知らん人を。

むかじ 【名詞】 1) 百足。むかでの訛。志 (越賀、布施
田、片田、志島、甲賀、国府)、鳥 (鳥羽、国崎、管
島)、張、度、尾、南、熊) 2) 子沢山。[会話] 1)
足な (が) よけ (沢山) 有ると ムカジみたいなあ
(のようだ)。むかで言うのを ムカジ言うの (ので
す)。2) こおなよけ (子供が沢山) 有ると あやまあ
(彼女は) ムカジで言うて、足な (が) よけ (沢山)
有るやんな (でしょう) そやよってん (それだから)
子な (が) よけ 有るもん (者) は ムカジで、よけ
子な 有って言うて よお (よく) 言うやんかい (言
います) ムカジや (だ) 言うて。

むかしくさい 【形容詞】 古い 古い事 ふるくさい 現
代の様式に合わない (志 (布施田)、伊賀地方)

むかしこんざい 【名詞】 ずっと以前から今に到る迄
[用例] おらげや (俺の家は) ムカシコンザイ 漁師
な (が) 商売やれ (仕事だ)。

むかしにんげん 【名詞】 考えの古い人

むかじのり 【名詞】 海藻。ほそえだあおのり。あおさ目
あおのり属。体は細い長柱状で沢山に分岐し、枝の上
部は細く、先端は一列の細胞からなる。細胞は縦列す
るものが多い。

むかしのわかいしゅ 【名詞】 老人を言う

むかしふう (昔風) 【名詞】 昔の様子 古風な事

むかしや 昔は。[会話] 昔は言うのを ムカシヤ言う
て。今し (今) は、言うのをなあ 今しや言うのなあ。
今しや ムカシヤ言うてなあ。

むかしやむけてしやじけて 過去の事は完全に無いこと
として。むけてしやじけて参照

むかつく 【自力五】 1) 吐き気がする。むかむかする。
胸が悪い。(志 (浜島)) 2) 腹が立つ。(志 (浜島、
布施田)) [会話] 1) 胸な (が) ムカツクたら (と
か) 2) 腹な (が) 立つ時も ムカツク言う。あんな
(彼の) 言う事な (が) 癪にさわって (腹が立つて)
ムカツク言うて。1) 吐き気がする時も あれ 喰うた

や (喰ったら) ちよいと (少し) あたったかして (中
毒したと見えて) ムカツク言うて。こや (これは) 喰
うと 当たせんかいなあ (当たらないか) 思いもて
(ながら) 喰うと、むかついてくんねてや (来るので
す)。2) なんか (何か) 言われて 腹な (が) 立つと
あれん (彼に) 言われたや (たら) ごおなわいて (腹
が立つて) ムカツク言うて ものすごお (大変) ごお
なわく時 ムカツク言うの (のです)。

むかつぱら 【名詞】 腹の立つ事を言う

むかむかする 1) 吐き気をよおす (志 (布施田))

2) 腹が立つ

むかわんかい。むかわんかな (女性語)。むかわんかれ
座りなさい

むき (向) 【名詞】 1) 本気。向きにの形で、少しの事
でも本気になる事。ささいな事でも本気になって腹を
立てる。むきになる。性癖を丸出しにする。(志、
鳥) 2) 方向。3) ある方面に適していること。4)
好み (志 (布施田)) [会話] 2) ムキ。あっちゃ (あ
ちら) のムキ。こっちゃ (此処ら) 向け言うの ムキ
な (です)。かざムきなわり (風向が悪い) 言うて。
よお (よく) 怒ると えらい (大変) 今日は 風ムキ
な わりやんかれ (悪いですね) 言うて。家でも 東
ムキきとか 北ムキとか 南ムキとか 家 建てんの
おも (るのもの)。1) あや (彼は) じっきん (すぐに)
ムキン (に) なってくんねよって (来るのだから) 怒
って来る言う事を ちよいと (少し) 言う事でも じ
つきん 怒ってくんのを じつきん ムキン (に) な
ってくんねてや (来るのです)。人な (が) 嘘ん
(に) 言うても ムキンなって 怒って来て言うて、
本気ん (に) して 怒って来る事を。冗談や (だ) 言
う事な (が) 判らんと (判らずに) ムキンなって ご
おわかして来て (腹立てて来て)。いちがい (馬鹿正
直) な者は まともん (まともに、真面目) に受けて
ごおわかして。

むきあう (むきあふ) (向合) 【自ワ五】 向い合う 対面
して居る 転じて喧嘩する

むぎあき (麦秋)。むぎあきどき 【名詞】 麦刈り時。麦
が実り熟する頃。バクシュウ (麦秋) の訓読 (広辞
苑) [会話] ムギアキ言うな (のは) 麦刈る時を ム
ギアキ。しんがつ (四月) 五月を ムギアキドキ 言
うて。たあ (田) の時は 秋や (だ) 言うて、田は
稲秋や (と) 言わせんけど (言わないが)、秋や
(だ) 言うけど (が) 麦の時や (は) ムギアキや
(と) 言う。ムギアキや (だ) 言うて 刈り取るもん

で (ので) 実ったのおを (のを) そんで (それで) 田の時と一緒に ムギアキ。麦でも 米の代わりすんね よって (するのだから) あんで (あれで) 言うんやろ なあ (言うのでしょうか)。米も麦も 一緒にのうちやんかい (価値です)。美味しい、味ない (まずい) は有っても そやもんで (それで) 田、刈る時は秋で麦する時はムギアキ。しんがつのおちほ (四月の落穂) 言うて 昔や (は) しんがつ になると 麦な (が) あかろんで (実って) ちよんなくび (穂がたれた状態) ん (に) なってくと (行くと) ちよいと (少し) 風な (が) 吹くと 穂な (が) 落ちんねてや (落ちるのです) そやもんで (それで) しんがつのおちほ 言うて。あからみ過ぎると (実が入り過ぎると) 穂な (が) ちよんなくびん (に) なって 当たると ぼん と へしょれてくんでや (折れて行きます)。そとま あ (すると) にのて (担って) 来ても ぼたぼたと 道い (へ) 落ちて。麦刈りな (が) ほんと (本当) 苦 になりおったのお (苦痛になって居ました) 麦刈り あつつうて (暑くて) あつつうて。“はた (畑) にい (出) 出そろう麦を 眺めては 四月の熱さ 思いやられる” “おお西吹きに (西風の強い時) しえん ちゃ (便所) の こもを はぎ取られ けつの寒さに 思いやられる”

むきあわせ 向い合う事 互に正面を見ている

むぎから 【名詞】麦を叩いて脱穀する事。麦打 からさわ参照 [会話] ムギカチ言うて 麦を干しいて (ておいて) からさわで どばしょおったんやんかな (叩いたのです)。穂ののおを (のを) 叩くんやんかい (のです)。今は 機械で摺ってもらえおったけど (貰って居たが)、わしらな (が) 子供の時分 この浜で 皆 わがとらな (自分達が) 叩くねやんかな 何日言うて (何日もかかって)。一俵叩く (こう) 言うと だいぶせな (ずいぶんしなければ)。二人やど けで (位で) 叩いとると (て居ると) 一日ん (に) 一俵か二俵より よお叩かんわな (叩きません)。そや よって (それだから) 幾日でもしよおった (して居ました)。こいて 穂だけになったのを持て来て (持って来て) 二日、三日干しいて (ておいて)、よお (良く) はっしやいだとこで (乾燥した所で) からさわで どばすんやんかい。戦時中は からさわやなしん (でなしに、でなくて) からうすでもしたわ (しました) からうすで、搗きよおった (搗ました)。摺り屋な (が) おるうち (居る間に) 摺って貰うとええね けど (よいのだが)、摺り屋な (が) 機械 片付けた

と (てやると) わがとらな (自分達が) せなはざん で (しなければいけなくて)、白い (に) 入れといて (ておいて) 大きな杵で どついたり (叩いたり) つ ついたりしよった (して居ました)。

むぎかちうた 【名詞】麦を脱穀しながらうたう歌。

むぎから 【名詞】麦稈。麦の実を取り去った茎。むいがら参照 (志 (浜島、甲賀)、鳥、員、安、伊、尾、松) [会話] ムギカラ言うの (のを) むいがら言うやんかい (言います)。

むぎこ (麦粒) 【名詞】大麦の実を煎って粉にしたもの。砂糖を加えてそのまま、また熱い湯茶を加えて練って食べる。むいご。(志、鳥) [会話] 麦を煎ついて (ておいて) 挽いたのおを (のを) ムギコ言うて。ムイゴ言いおったやんかい (言って居たではありませんか) ムギコ言わんと (言わずに)。麦な (が) 獲れたら まあ はよ (早く) 麦もゆつといて (選り分けて) ムイゴ 挽いてもらいん (に) もてけ (持って行け) とか、家で挽く時や (は) 雨やつたら (だったら) ムイゴ挽くとええんやれ (よいのだ) 言うたりなあ。なんも (何も) 食べるもんな (物が) 無いもんで (ので) ムイゴな (が) どいらい (大変な) ごつつお (御馳走) でなあ さと (砂糖) 入れてなあ、こおとな (質素な) 人 塩だけで、さと (砂糖) 入れて 食う家や (は) そげんよけ (そんなに沢山) 無かりおつたねんなあ (無かったのです) 塩茶で飲むの (のです)。

むぎこき (麦扱) 【名詞】麦の穂を茎から離す事

むきだし。**むきつけ** 【形容詞】 【副詞】 露骨。無遠慮。剥き出し。覆い隠さずあらわにして居る事、又そのさま。感情、欲望などを隠さず、言葉や態度、表情などを、ありのまま表す事、又そのさま。露骨なさま。[会話] ムキツケテ言うて なんでも (何でも) ぼん と言う事を。あんた (貴方は) すかんなあ (嫌だ) とか、よくしんぼやなあ (欲張りだ) とか 言いのくい (言いにくい) 事を はつきり言うのなあ (のを) ムキツケテ言うてなあ (言います)。言いのくい事を、はつきり言うたると (言ってやると) あんななあ (彼は) ムキツケテ よお言うねよって (よく言うのだから) 言うて、よお言うやんかい (よく言うで有りませんか)。

むぎどき (麦時) 【名詞】麦の収穫時。麦の稔る頃。[会話] 麦刈る時なあ 四月ののどき (農繁期) の事を ムギドキ言うね (言うのです)。四月の落穂や (だ) とかなあ。落穂言うのはなあ あかろで (熟して) ほ

おな（穂が）ちょんな首（曲がって）になってなあ
風な（が）吹くと ほおな（穂が）落ちんね（落ちる
のです）。しながつ（四月）の落穂も まあ ほん
（本当に）よお休まんと（休まずに）仕事してとか、
ああ 落穂ん（に）忙しのん（のに）何処其処い
（へ）行て（行って）とか言うて 落穂は どいらい
（大変）忙し時やんかい（です）。風な（が）吹くと
かちよて（打ちあって）ほおな（穂が）皆 へしよれ
て（折れて）落ちんね（落ちるのです）しながつ（四
月）の 落穂言うて それ言うんやわい（言うので
す）。あからみ（熟し）過ぎ、かりしおな（刈る時期
が）すんどんのをなあ（でいるのを）落穂や（です）。
風な（が）吹くとなあ 曲がとる（ている）とこ
（所）から 皆 折れてなあ ほおな（穂が）落ちて
そして、それ 二重かがり（籠）さげて 拾いん
（に）まあて（廻って）、そして そえん（そんな
に）なると 刈りぬくうて（にくくて）弱るもんでな
あ（困るので）しながつの 落穂ん（に）ほん（本当
に）忙しのん（のに）言うて。

むきになる 本性を丸出しにする 一生懸命に反抗する
むき、むきんなる参照（志、鳥）

むぎのびやいろは、おおびのしゅんや【俚諺】 麦の熟す
る時は鮑もまた大漁する

むきみ（剥身）【名詞】 1）蛤や浅蜊などの貝類の殻を
取った中の肉。（鈴市、安、津）2）豆類の莢を除いた
物（志）3）丸裸。4）陰茎の露出。特に性交時
[会話] 1）ムキミは なんやかや 物を剥いた、貝の
なあ あいなのおを（あんなのを）ムキミ言うけどな
あ（言います）。かあ（皮）剥いて食うの（食べるの
を）ムキミ言うけどなあ（言います）。

むきむき【名詞】 それぞれ。好き好き。人それぞれに好
みが違っている事、又仕事などが人により適、不適の
ある事。[会話] めんめん（銘銘、各自）の ムキム
キでなあ言うて。わしや（私は）こげんおもとる（こ
んなに思っている）あんた（貴方は）こげんおもとる
あっちゃ（あちらは）こげんおもとる、みんな（皆）
思いの違う事を 皆、めきめきで。めんめん（各人）
の ムキムキで 皆、思いよお（思う事が）違う。み
んな（皆）思いな（が）違うのを ムキムキや（だ）
言うて。あんたは（貴方は）チョコレートな（が）好
きやし（です）、あっちゃ（あちらは）あられな
（が）好きやし、わしや（私は）酒な（が）好きやし
皆 ムキムキや（だ）言う。めんめんのまら（性器）
で むけむけや（です）それも 一緒や（です）。

むぎよせ【名詞】 発芽した麦を土を覆ぶせること。又周
囲に土を寄せ集めること。[会話] ムギヨセンノ（寄
せるのを）しよながつ（正月）済んでなあ 二月頃ん
（に）なると 麦な（が）生えとると（ていとう）そ
れいなあ（へ）こつちや（こちら）から土寄せ あっ
ちや（あちら）から土寄せ 麦な（麦の並びが）みだ
れてかんよん（乱れないように）麦の根元い（へ）寄
せんの（るのを）覆ぶせたらんとなあ（てやらずに）
寄せるだけ、それを ムギヨセ。土 覆ぶせんななあ
（せるのは）おう（覆う）言うてなあ。ムギヨセしと
いて（しておいて）畝な（が）しゃんとなるよおん
（ように）すんね（するのです）土 よせごといて
（寄せ集めておいて）そのあい（間）に 植えもん
（植え物）しいおったもんで（して居たので）ムギヨ
セしよおったんやわい（して居たのです）。

むぎよせる 発芽した麦に土を覆ぶせる。又周囲に土を
集める。[会話] しよながつ（正月）の 休みな
（が）済んだら ムギ、ヨセヤナ（よせなければ）言
うて 畝に麦な（が）生えとるやんかい（生えていま
す）それ 覆せたんねなしん（てやるのでなくて）土
を 寄せんねやんかい（るのです）。

むきよとる 向い合っている むかいおおて参照

むぎわらほうずき【名詞】 法螺の卵。たんばほおずき
参照 [会話] ムギワラホオズキ 麦の形をした、よ
まし（よまし麦）の開いたよおなの（のです）。

むきんなる むきになる。本気になる。性格を丸出しに
する。むき参照（志、鳥）[会話] ムキンナル言うの
は 人な（が）冗談言うても（言っても）ほんとんす
んのを（本当にするのを）ムキン（に）ナッテ怒って
言うて。冗談言うても ほんとんして ムキンナッテ
くんねよって（来るのだから）、あんなとこ（彼の
所）で なんも（何も）言われやせんどお（言ってい
けない）ムキンナッテクンネヨって 言う（言いま
す）。

むく（向）【自カ五】 その人や物に適する。ふさわしい。
[会話] 此の柄（模様）あんたん（貴方に）よお（よ
く）ムクやんかい（似合っています、むいて居ます）
とか、ムク 言うて よお によとる（似合って居
る）事を あんた（貴女）むきやなあ（だ）言うて。

むく（無垢）【名詞】 心身が汚れて居ない事。うぶで世
間ずれて居ない事。全く混じり気のない事。[会話]
混じりの無いもん（物）を ムク言うな（言うので
す）。にげでもやがな（人間でもでしょう）あや（彼
は）ムクなねよって（なのだから）言うやがな（言う

でしょう)。まだ 色気付きも なんも (少しも、全く) しとらへん (して居ない) 言うと、正直な (だ) 言うんかいなあ (言えよいか) 素直や言うんかなあ (言うのか) そお言うな (のを) まだ ムクやもんなあ (だから) 言うて 言うもんなあ (言います)。

むく 拳骨で頭の上を強く押し上げる。むくりあげる。

(志) [会話] 拳骨でこお 撲るんやなしん (撲るのでなくて) のぼり (上) か くだり (下) か言うてのぼりや (と) 言うな (のは) こして (頭に拳骨をあて、押し上げる) 上向いてすんの (します)。下りか言うと 下向いてすんのな (するのです)。のぼりかくくだりか言うて しいおったもんで (して居たので)。げんこ ムクッタンドオ (拳骨むくってやる) 言うて。ムクられて (撲られて) まやがったよお (舞い上がった) とびやがった (飛び上がった) とか。ムクル言うのは 拳骨で撲る 叩かれた言うて 頭はったあされた (張り倒された) 言うて。張り倒されたとか、ほべた (頬) 叩かれたてら (とか) 張り廻された 言うて。てえ (手) を ひらくとおすんな (平にするのは) 叩くててら (とか) 張るてら 言うし、こいな (握る) すんな (するのは) ムクル言うて。ぴんた張ったんどお 言うな (のは) この手ですんの (するのです)。ムクッタんどお 言うのは 此れやんない (拳骨でしょう)。さんねんうずき (三年疼き) やったんどお 言うて 一つこつくと (叩くと) 三年も 疼いとんのおで (痛いのが続くので) 男の人らな (が) 三年疼きやったんどお 言うて よお言いおったやんかい (よく言って居たでは有りませんか)。一つむくると 三年も 疼いとんね (て居るのだ) 言うて。

むく 【他カ五】 剥く。物の表面を覆って居る皮、殻などを取り去り中の物を外に出す。龟头を露出させる。
[会話] 皮ムク 芋の皮ムク 蜜柑の皮ムク 竹の皮ムク。

むくい (報) 【名詞】 ある行為の結果として、身にはね返って来る事柄。善悪いづれについても言う。

(津) [会話] ばちな (罰が) 当たった言うのをなあ ムクイな (が) 来て まあ言うて。あいな (あんな) 事 人ん (に) 言うたり したりするよってん (から) しやれ (それ) ムクイな (が) 来たれ言うて。わり (悪い) 事すると 後で ムクイな (が) くんど (来るぞ) 言うてなあ。病気したりすると さいご (その時) ムクイな (が) 来たんなあ (来たのだ) 言うて。ええ (よい) 事すや (すれば) ええ ムクイな (が) 来るし、わり (悪い) 事すや わり ムクイな

(が) 来る言うてなあ。

むくいる (報) 【自ア上ー】 【他ア上ー】 相手の動作に応じて対応する。受けた恩義、恩恵、害に対し、それに応じた行動をとる。(三重県全域) [会話] ムクイル 与える言う事やわいなあ (です)。まあ あの人に 世話になつとるよって (なっているから) あれも ムクイせななあ (しなければ) 言うて、御礼せな 言う事をなあ。せんぎり (十分に) 世話ん (に) なったりしたもんで (ので) それん (に) ムクイナなあ 言うて、恩をかやさななあ 言う事やわい (です)。

むくち (無口) 【名詞】 寡黙でありものを言わぬ人。

[会話] なんも (なにも、少しも) 喋らせん (の) (ない) のを) ムクチ。

むくつけん 【形容詞】 露骨なさま あらわにするさま
[用例] あの男、ムクツケン何でも よお言うねよって (よく言うのだから)。

むくったれ 撲ってやれ

むくったんどお 拳骨で撲ってやるぞ。むく参照

むくつとけ 撲っておけ

むくみ (浮腫) 【名詞】 浮腫。体の内部に組織液、あるいはリンパ液がたまり、はれたようになる状態。[会話] はれて来たのをなあ ムクミな (が) 来た言うやんかいなあ (言います)。足の甲な (が) はれて来ると 足の甲な (が) ムクンデ 来た言うて、言うやんかいなあ。そして 顔な (が) ふくれとんの (ているのは) 顔な (が) おもくれて言うてなあ。顔の時はおもくれて、そして 足や (とか) てえな (手が) 痛みで はれて来るやんない (来るでしょう)、そすと (すると) ムクミな (が) 来た言うてなあ はれて来た言う人も有るしなあ (有ります)。

むくむ 【自マ五】 水分がたまって、体、またはその一部がふくれる。[会話] ムクム 言うのは はれて来る言う事やわいなあ (です)。

むくりき 【名詞】 短気者

むくる 【自ラ下ー】 【他ラ五】 1) 拳骨で撲る。(志)
2) 剥る。はがす。まくる。腹を立てる。むく参照

むくれる 【自ラ下ー】 腫れる 浮腫を生じる

むけてしゃじけて 過去の恋人とは完全に縁が切れた。

[会話] 昔 あの人な (が) 有ったやんない (でしょう) 言うと、そいなもな (そんな者は) ムケタワイ 言うて そして、なとしたんどい (どうしましたか) 今しゃ (今は)、そしたや (ら) 今しゃ シケタワイ 言うて 昔あの人と 有ったけど (が) 今は何も無い言う事の意味やわい (です)。

むける (剥) 【自力下】 1) 亀頭の包皮がまくれる。

2) 表面の物が、まくれて取れる。[会話] 1) ムケル男の物 ムケル。男の一の道具や(だ)。一番の道具やわ(だ)。人間をこしらえんねよって(作るのだから)。ほかのもん(他の物) よお(よく) 人間をこさえるてかい(作れますか)。ちんば(陰茎は) ほんとん(本当に) 偉いねんな(のです) 言うやんかい(言います)。昔の人らな(が) “おめこ(女陰) おめこと 軽蔑するな おめこは人間製造株式会社 ちんこ(陰茎) は その日の雇われど(雇い人)” 言うて。男はその日に雇われた 日雇人や(です)。2) 物がムケル。バナナな(の) 皮が ムケルとか。むいた。皮むいた。竹の皮 むいた。芋の皮むいた。仕事よけ(沢山) して てえ(手) の皮 むいた。ムケル。ともかく 表面に有るもん(物) が 皆 はずれるの(のを)。

むこ (婿) 【名詞】 養子。花婿。[会話] ムコとる。嫁とる。俺家のムコ。養子の事なあ(です)。

むご 【名詞】 婿。ひやめしぐい参照 [会話] 婿の事をムゴよ。婿やのおて(でなくて) ムゴや(だ) 言うて。そやもんで(それなので) 婿ん(に) 行かまい(行きたくない) 言うたんやろ(言ったのでしょうか)。

むごい 【形容詞】 むごたらしい。残酷だ。かわいそうだ。(松) [会話] ムゴイ。ムゴイ程 使われた。言いおった(言っていました)。可哀想な程 使われた。使いおった(使いました)。昔は 婿や(だ) 言うて 軽蔑して 下男使うよおん(に) して 使いおったんやろなあ(使って居たのでしょうか)。

むこいり (婿入り) 【名詞】 結婚。婿に行く事(上、阿、張、名) [会話] ムコイリ言うな(のは) 嫁どり(結婚、女性が男性へ) と一緒に、婿な(が) 行くの(のです)。婿な(が) 来たのおを(のを) ムコイリ。小槽 三合有ったら ムコイリすんな(するな) 言う事 昔の人らな(が)。小槽な(が) 三合有ったら ムコイリすんな 言うぐらい(程) 婿はえらかった(大変でした)。むかしや(昔は) むご言うて、婿やのおて(でなくて) むごや(だ) 言うて 婿やもんで(なので) つこて(使って) つこて 使い殺しおったやがな(て居たでしょう)。今しや(今は) 婿は大将で 神さんや(です)。むごで そやよってん(それだから) 小槽な(が) さんご(三合) 有ったら、ムコイリせんでも(しなくても) さんご(三合) もとでん(元手、基金に) して しんしょ(身上、家) 持て言う事 やわい(です)。そのぐらい 婿はつらかった。

むこおいき 【名詞】 相手に対する態度

むこおかぜ (むこうかぜ、むかふかぜ) (向風) 【名詞】

正面から吹いて来る風。向かい風。[会話] 行こ(行こう) とすると、尻(後) から吹いて来る風を 追い風言うて、前から風な(が) 吹いてくんのを(来るのを) ムコオカゼ。

むこおすげ 【名詞】 草履の鼻緒のすげ方。[会話] ムコオスゲ言うなあ(のは) じょおり(草履) 当たり前に じょおりすげ(鼻緒通し) 通して すんの(するのを) ムコオスゲ言うのなあ(です)。あしなか(足中) 言うな(のは) すげばな(鼻緒通しが) いなんね(要らないのです) むすどく(結んでおく) だけやもんで(なので)。

むこおすね (むこうすね、むかうすね) (向脛) 【名詞】

下腿(脛)の前面。(飯) [会話] 自分のすねでも ムコオズネ言うて むこおのすねやれ(だ) 言うて。相手に 向きおとる(向かいあって居る) すねや(だ)。

むこおべた (むこうべた、むかうべた) 【名詞】 向こうがわ。あちらがわ。[会話] むこおの方を ムコオベタ、左の方を ヒダリベタ言うねよってなあ(言うのですから)。そしといて(そうして) わがとらな(自分の方を) こちらベタ言うの(のです)。あっちゃベタ(あちら側) 言うて、あんた(あなた、お前)の方を あっちゃベタ。あんた(お前) あっちゃベタン(に) おれえ(おりなさい)。わしら(私は) こっちゃベタン(こちら側に) おるわい(居ます) 言うて。あちら こちら言うのを あっちゃベタ こっちゃベタ言うね(のです)。

むこおみず 【名詞】 周囲に気を配らない人、気の強い人

むこさん 【名詞】 婿 夫(おと) (南)

むこだまし 【名詞】 ささげ(豆) の一種。ささげ参照

むごたらし (惨) 【形容詞】 残忍である。悲惨である。

[会話] ムゴタラシなあ あんまりえらいなあ(あまり大変だ) 言うの(のを)、憐れなよおん(ように) しとんの(しているの) を、ムゴタラシよおなあ(だ) 言うてなあ。あんまり そや(それは) ムゴタラシやんかあ(でないか) 言うてな、えらい(ひどい) 事すると あんまり(あまり) わり(悪い) 事するとなあ おおた むごい事しといてたなあ(して歩いて行つた) 言うてなあ。ムゴタラシ言うのは むごいより も一つ きつい(強い) 言うんか(言うのか) それのしんにゅう かけたのおやなあ(のです)。

むこて 迎えて

むこて 座って

むこてきた 1) 迎えてきた。2) 座って来た

むこてきて 1) 迎えて来て。2) 座って来て [会話]

- 1) しょおろさん (先祖様) を 水向けん (に) いて (行つて) ムコテキテ わが (自分の) 家の ほとくさんへ (仏壇に) しょおろさんな (が) 入ったわけや (です)。

むこてく 1) 座り込んでしまう 2) 手向って行く

むこてこい 1) 迎えて来い 2) 座って来い

むことり。むこどり **【名詞】** 1) 婿を迎えること。結婚 (志 (越賀、国府) 2) あととり娘、女姉妹の長女。 (南、熊) [会話] 1) おなごな (女が) 養子貰うと ムコトリや (だ) 言うてな。 男な (が) の おて (無くて) おなごばっか (女ばかり) の家や (は)。 2) あの家や (は) ムコトリやのんなあ (だの) に 貰いん (に) いたてて (行つても) くよかれ (くれるものか) 言うて 後取り娘の事を ムコトリや (だ) 言うて。

むことる 婿を迎える

むことる 座って居る。 (鳥 (坂手)) [会話] 座つとる (ている) 事 正座しとる (している) 事をな、ムコトル。 むこてばっかおつて (ばかり居て) 言うてな。 立ったり むこたりせんと (せずに) 座りきり で しとると (していると)、おた むこてばっかおつて (ばかり居て) どこやかやな (何処此処が) いと おて (痛くて) まあ 言うてな。

むことれ 座って居れ [会話] むことれ 言うて 座つて居れ 言うのを。

むこどん **【名詞】** 婿殿。婿。 [会話] ムコドン 言う と 娘な (が) 嫁ん (に) いた (行つた) 人をな、ムコドンや (だ) 言うてな 婿殿や (だ) 言うてな。 わが (自分の) 家い (へ) 貰う の でも 家のムコドンな (が) 言うし、娘な (が) 嫁ん (に) いとる (行つて) いる 亭主を 婿殿な (が) 俺家の言うやんかい (言います)。あっちゃい (あちらへ) やつても、男の方を ムコドン、もろてもな あ (貰つても)、男やよつて (だから) ムコドン 言う て 娘の亭主ん (に) なる人 を 婿や (です)。

むこのおじ **【名詞】** 婿。たるがえし参照 [会話] ムコノオジ は しゅうとや (嫁の家) へ 初めて行く のん (に) 大戸口 (玄関) までいて (行つて) 障子い (へ) てえ (手) かけんねけど (かけるのだが) あきよかいな あ (あけようか) あけまいか おもて (思つて) いくくら (幾度) もすんね (するのです)。

むさい **【形容詞】** 汚い。不潔だ。臭い。 (上、阿、張)

むさくるし **【形容詞】** 1) 汚い、だらしがなくて不潔である。2) 高温多湿で気分が悪くなる状態。むしむし参照 [会話] 2) 梅雨なんかで じめじめ しとんのお は (しているのは) ムサクルシ。

むさくろし **【形容詞】** 1) むさくるしい。むさくろしい。だらしが無くて汚らしい。汚れて居て不潔で有る。 (志 (布施田)、桑郡、三、四、鈴市、伊) 2) 高音多湿で気分の悪くなる状態 むさくるし [会話] 1) うっとしよおん (うっとうしいように) しとるとこ (して居る所) を、ムサクロシ とこやな あ (所だ) 言う て。 暗がり (が) るい よ おな 息詰 まった よ おな 空気な (が) 入らん よ おな とこ (所)、ムサクロシ よ おな とこやな あ 言う て。 家 でも ちっちゃあい (小さい) ひつくい (低い) 家な (が) 有 つて ムサクロシ よ おな 家やな あ 言う て。 汚い とか 汚れ とる (て居る) とか そい な のお も 有 る し (そんなのもあります)。そして (そうして) かざすき (風通し) も わり (悪い) と なんや (なにか) ムサクロシ よ おな な あ (ようだ) 言う て。

むさす 1) 蒸す。蒸らす。そおに参照 (志 (布施田)) 2) 高温である [会話] 1) かつたいもん (堅い物) 炊く 時は ちよいと (少し) 十分位 炊いて 又 十分位 ムサシテ すると 煮えんのも (煮えるのも) 早い し 煮え かた も ええ の な あ (よいのです)。

むさつく **【自カ五】** 1) 気持ちが晴れない。2) 湿気が多く、温度が高い状態。むしむしする参照 [会話] 1) なん か (なにか) 言 わ れて ご お な わ いて (腹が立って) ムサツク。 2) 梅雨なんか でも 今日は 蒸す な あ 言う て、むしむし と う つ と し ひ い や な あ (うっとうしい日だ) 言う て。 ムサツク 言う の も 一緒 の 事 や (です)。

むさむさ **【副詞】** 高温多湿で、気分が悪くなるような状態。むしむし参照 [会話] 梅雨の時 なんか じめ じめ しとんのお は (しているのは) むさくるし。 ムサムサ すん な あ (する) 今日は 言う て。

むざむざ **【副詞】** 1) 惜し気なく 2) 残念なさま 3) わけもなく 無造作に (大言海) ミスミスの転

むざむざと 1) 残念に思いながら 2) 施す術もなく 3) 惜し気もなく

むさらく **【副詞】** 沢山。多く。むっそう。むさんこ むさらこ参照 (南) [会話] ムサラク よ ば れて (御馳走になつて) 腹一杯 や よ お (です) 言う て、ムサンコ 言う たり ムサラク 言う たり 沢山 食 べ た 事 を その 時 に、ムサラク。 ムサンコ 言う のは よ つ け (沢山) 食

べた事を ムサンコん(に) 食べた言うて。ムサンコ言うのは よおけ (沢山)。ムサンコ食べて来たたら (とか) 腹な (が) 膨れきってく (て行く) 程、食べた言うのを、ムサンコん(に) 食べた言うのなあ (のです)。ムサンコ言うな (のは) なんも (なにも) 考えんと (ずに) 仕事するとか それも ムサンコ言う なあ (言います)。ムサンコん(に) やりきったた (してしまった) よけ (沢山) した言う事。

むさろこ【副詞】 沢山。多く。(志) [会話] ムサロコん(に) 打ってまあ言うて、どこやかや (何処此処) 打つと おおた ムサンコん(に) 打ったや(ら) 痛かったれ言うてなあ。ムサンコん(に) 拳骨むくられた (叩かれた) とか そいな (そんな) 時ん (に) 言うなあ。ムサロコ言うのも 一緒やけどなあ (です) 沢山言う事をなあ ムサンコ ムサロコ言うてなあ。ムサンコん(に) もて (持って) 来たとか、もろた (貰った) とか、ムサンコん(に) やって (食べて) 来たとか、ムサンコん(に) まあ 頭をやられて (叩かれて) 来たれ言うたり すんのなあ (するのです)。

むさりくさい 蒸した様な匂がする **むさる**参照

むさる 消える。なくなる。(志)

むさる 熱気と湿気が多くてむれる [会話] あつつうて (暑くて) むさってく よおななあ (て行くようだ) 言うたり、湿ったもん (物) を そんなり (そのまま) 蓋しとくと (しておくと)、おそとくと (重しをかけておくと) ムサッテカレ (行く) 言うて。ムサリクサイわれ (ぞ) 言うて、ほとりくさいわれ 言うて、むさしとくと (ておくと)。ムサリクサイとか ほとりくさいとか。ムサル言うのは 腐ってく (て行く) よおな 食うとんのん (て居るのに) 食われん (食えない) とか、使うのに 使いもん (物) に なりのくいよおに (にくいように) したる (してやる) 言うのを むさってく ムサル。ごもく (炊き込み御飯) でも むさってくと (て行くと) 喰われやせん (食べれない)。湯気な (が) 有るうちん (間に) 蓋しとくと (しておくと) むさってて (て行つて) ほとりくそおて (臭くて) さましとかな (ておかなければ) ほとりくそおて 喰われやせん

むさんこ(無算講)【形容詞】 1) 無暗に。無算当。見通しを持たない事。でたらめ 考えが足りないこと、又そのさま。成算無くしてする事の意。むさらく参照 (志 (浜島、鶴方、神明、志島、甲賀、国府、安乗)、鳥 (浦村)、員、三、鈴市、鈴郡、津、安、一、多、上、阿、張、名、度、伊、北、南、熊) 2) 多い事。

むっそう参照

むさんこな 無暗なこと。前後のわきまえなし。(志 (布施田)、阿) [会話] ムサンコナ言うて “な” つけると ムサンコナ事して言うて、無茶苦茶な事すると そいな (そんな) 時んなあ (に)。

むさんこに 無暗に。目茶目茶に。(員、鈴市、安、松、上、阿、張、名、伊、尾、南、熊) [会話] ムサンコニ言うのも むさらこに言うのも 一緒やけどなあ (です)。無茶苦茶に言う事や (です)。

むざんな 残酷な 目も当てられない 可哀相な

むし(虫)【名詞】 1) 熱性けいれん。(南) 2) 蛔虫症 (安) 3) 立腹する事。[会話] 1) 疳虫やとか (だとか) 3) 腹のムシな (が) 治まらん言うて、よお言うやんかい (よく言います)。腹の立つ事言うんやなあ (言うのです)。腹のムシな (が) 治まらん言うなあ (のは)。¹⁾ 子供らな (が) 熱な (が) 出て ごおいったりすると (腹を立てたりすると) カンムシな出た言うて。うしろこんぶ (後頭部) や、此処ら (前額部) 押さえたとと (てやると) 熱な (が) ひいて (下がって)。よお (よく) ムシ押さえて貰いに 行きおったなあ (行つて居ました)。ムシオコス言うなあ (言います)。子供らな (が) カンムシを ムシな (が) 出た言うて よけ (あまり) ごおいらかすと (腹立てさせると) ムシな (が) 出んど (出るぞ) 言うて 言いおった (言っていました)。子供らな (が) 気に入らん事 よけ (沢山) して、ごおいって (腹立てて) 泣くやがな (でしょう) そいな事 (そんな事) すると ムシ、出すど (ぞ) 言うて。よお ムシ、出しおったお (出して居ました) 熱な (が) して来て あんで (あれで) 知恵熱 言うのな (が) 有ったんやろなあ (有ったのでしょう)。

むし【名詞】 ごかい。魚を釣るための餌にする虫。たいむし参照 [会話] 浦い (へ) ムシ 堀りん (に) 行きおって (行つて居て) うず (いさぎ) 釣りん (に) 行くの (のに)。

むし【名詞】 蛆虫 (南)

むじ(むぢ)(無地)【名詞】 模様のない布地、紙等、又、節のない上等の板や柱のとれる木材。[会話] なんも (何も、全く) 模様な (が) 無いもん (物) を ムジや (と) 言うしなあ (言います)。きい (木) でも 節や (とか) なんやない すべつと (平らに、滑らかに) しとんのお (して居るのを) ムジ。白を。色もん (物) が ひといろ (一色) のもん (物) を ムジの もんや (だ) 言うなあ (言います) 模様の無いもん

(物) を。

むしいかぶった 腹が痛む。食べた物が悪くて吐き気を訴える。見た感じ、嗅いが悪くて吐き気をもよおす。
むしいかまう参照 [会話] 生臭いの(のを) 気にせん(しない) 人は ええけど(よいが)、気にするとすかん(嫌だ) 思うと ムシイカブッテ げえ申したい(嘔吐したい) よおな 気になってくんの(くるのです) ムシイカブッタ言うの(のです)。

むしいかまう 1) 吐き気をもよおす。2) 腹が立つ [会話] 1) ムシイカマウ言うて なんや(何か) 喰うて 御飯食べた時に。なんやら(何か) すると おおた(あゝ) すかんわ(嫌だ) どいらいわりは(大変悪い) 思う時 ムシイカマウ 言うて。なんか むっとしてくんねてや(来るのです)。そいな(そんな) 時ん(に) ムシイカマウ言うて。ムシナカブッテキタ言うて、こお げっと 出て来そおな 胸苦しなると、今にも 吐きそおん(に) になって来るもんを(のを) ムシイカマウよお言うて。生臭いもん(物) を 喰う時も なっちやら(何か) ムシイカブッたなあ言う時な(が) 有るわい(有ります)。なんやら(何か) 喰たたや(食べてしまったら) 気持ちな(が) わりいて(悪くて)。鰹の醤油漬けやどけでも(などでも) たつぷりと 漬つとる(て居る) と、ええんけど(よいのだが) なまずかりのを(半漬り、完全に漬って居ないのを) 食べると ムシイカブルよおな時が あんねてや(有るのです)。醤油たつぷり漬けて有ると 魚のかざな(嗅いが) 抜けんねけど(抜けるのだが) ちよいと(少し) 漬けよおな(方が) 早かったりすると、てこね(魚のちらし鰯) しても 生臭おて(臭くて)。醤油へ 半時間か一時間たつぷり漬けて てこねすると 魚の匂いな(が) しやせんし(しません) 漬けよおな(が) 早いと 生臭いの(のです)。生臭おて(臭くて) 気持ちなわりの(悪いのです) 吐きそおになって来たりして。生臭いの(のを) 気にせん(しない) 人はええんけど(よいのです) が 気にすると ムシイカマウよおな感じな(が) してくんの(来るのです)。すかん(嫌だ) 思うと その時ん(に) ムシイカブッテ もこもこつとして来て げえ(嘔吐) もおしたい(申したい、したい) よおな 気持ちになってくんの(来るのを) ムシイカブッタ言うの(のです)。ムシイカマウ。ムシイカマウ言う人も有るし ムシナカブッた、ムシイカブッタ言うて よお言うけど(よく言います)。どいらい(大変) むしなわりよお(悪いです) 言う時も有るけど(が) 大抵

の時は ムシイカブッテ言うなあ(言います)。ムシナワリ言うのは ちよいとぐらい(少し位) 気持ちな(が) わり(悪い) のを言うんけど(言うのです) ムシイカブル言うのは ものすごお(大変) 吐きそおん(に) 急になってくるもんで(ので) ムシイカブッたよお言うて。すぐに むかむかっと 食べた思うとしてくんね(して来るのです)。そんなまた(それが又)。茶漬けな(が) 嫌いなひた(人は) よお(よく) ムシイカマウ言うやんかい(言います)。

むしえた むせた むしえる むせる参照(北)

むしえる【自サ下一】 むせる。咽に物がつまったり、気管に引きこんだりして大きな咳が出る。(北) [会話] むしえて ごぼごぼ言うて、けぶり(煙) 吸うたると(吸ってやると) 咳な(が) 出てくんの(来るのを)、けぶりで むしえたよお言うてなあ。そして ちゃあ(茶) 飲んで ものどのひびい(気管へ) 入ってくと(て行くと) むしえてまあ言うて。むせる言わんと(言わずに) ムシエル言うね(言うのです)。

むしおこす 1) 疳虫。子供がけいれんをおこして来る。2) 非常に驚く。3) 食物を見たり、少量食べたりしたため更に食欲を刺激する。

むしおこり【名詞】 蛔虫による発熱。[会話] ムシオコリン(に) おこつて言うてなあ。熱な(が) してくんね(して来るのです) 虫な(が) よけ(沢山) おるとなあ。熱な(が) して来ると こや(これは) ムシオコリやなあ(だ) 言うて ものすごお(大変) 熱な(が) してくんねなあ(来るのです)。顔もなんもしゅうてんびん(真っ赤に) なって。

むしおさえ(むしおさへ)(虫押)【名詞】 1) 空腹の時、一時しのぎに、なにか少し食べること。少し食べて空腹をまぎらせること。2) 子供の疳虫を起こらないようにすること。3) 嫌な気分を発散させる事 [会話] 2) ムシ オサエテ貰う言うてなあ。子供な(が) 疳虫な(が) 出た言うてなあ ごおいって(腹立てて) すると おた 虫な(が) 出たんなあ(出たのだ) はよ(早く) 押さえてもおて(貰って) 来い言うてなあ。うしろこんぶ(後頭部) と まいのき(眉毛) のあわいを(間を) 押さえて貰いん(に) 行きおったね(行ったのです) そすと(すると) 治って よお(よく) 寝よおったね(寝たのです)。子供は むしやむしやと泣いたり ぐづったりすのを 虫な(が) 出た言うの(のです)。3) ムシオサエン(に) まあ 遊びん(に) 行てこおん(来ましょう) 言うてなあ 腹な(が) 立ったり むかむかする時やなあ(は) まあ

ムシオサエん (に) 其処らい (へ) 行て 気晴らしし
てこおん (来ましょう) 言う時ん (に) ムシオサエ言
う時な (が) 有るなあ (有ります)。¹⁾ 晩飯までん
(に) ちよいと (少し) 腹な (が) へって来たよって
(から) ムシオサエん (に) 言うて むしやしない言
うの (のです)。むしやしないん (に) ちよいと 一
口くところか (食べて居ようか) 言うてなあ。虫を養う
言う事やなあ (です)。

むじおる 非常に力を入れて折る。大枝など大変な勢で
折れる。[会話] へしょんのを (力を入れて折るの
を) ムジオル言うのなあ (のです)。ムジョレタレ
(て行った) 言うて、きい (木) でも ゆんべ (昨
夜) の風で ムジオレトシナ (て居る) 言うて。木な
(が) へしおれとると (折れて居ると) あや (あれ
は) ゆんべ の風で ムジョレタナア (たのだ) 言
うて。ほんと へし折ったのおを ムジオレタ言うて、
言うと (言えば) 無理から折る言う事や (です)。自
分らな (が) 折る時でも ものすごお (大変) 折りの
くいのを (折りぬくいのを) すね (下腿) へ当てとい
て (ておいて) ムジオッタレ言うて かつとおて (堅
くて) へしおれやへんの (折れないのを) すねへ 当
ててといて へしょんのなあ。うんと (充分) 力 入れ
てせな (しなければ) へしょられやせん (折れない
のを) ムジオル。枯木はほんと へしおれるけど
(が) 生きたのお (生きて居る) その儘のおは (の
は) なかなか へしおれやせん。

むじおれ【名詞】 無理に折れること。のりふね参照
[会話] 樫の木のムジアレ。柳に霜折れ無し言うて。
樫のきい (木) は かつたいもんで (堅いので) 曲ら
せんやんない (曲らないでしょう)、風な (が) 吹い
ても なんのその言うて こおじく (強情張って) し
とると (していると) 又 びゅつとして来ると ほんと
とへしよれる (折れる) そやよって (だから) ムジオ
レ言うの (のです)。

むしがい【名詞】 1) 虫貝。虫の喰って居る貝。2) 蒸
し貝。貝の調理法。貝を蒸した物。[会話] ¹⁾ 虫な
(が) 喰うとる (食べて居る) 貝を ムシガイやら
(とか) 言うやんかい (言います)。²⁾ 蒸して喰うの
も (食べるのも) ムシガイや (だ)。炊かんと (ず
に) 蒸すのな (のが) 有って あさりも 酒蒸しする
もんなあ (します)。そんな (それが) ムシガイ。

むしがし(蒸菓子)【名詞】 餅菓子。(張)

むしがでる 驚く 痙攣をおこす (上、阿)

むしかぶ【名詞】 成長しない稲株、麦株。[会話] すい

すいならんで (ならなくて) ちっちゃお (小さく) ち
ちこで (縮んで) よお (よく) 株な (が) 張らんのを
(ないのを) こやしな (肥料が) 足らんもんで (の
で) よお 株な (が) 張らんし (張りません) ムシカ
ブやれ (だ) 言うて。

むしかぶる 吐き気を訴える むしかぶった むしい
かまう

むしくい(むしくひ)(虫食)【名詞】 1) 所々に虫の食
ったような跡のあるもの。所々抜け落ちたもの。2)
役に立たない者 3) 集団の中で約束を守らない者
(志(布施田)) [会話] ¹⁾ ムシクイで まあこや
(これは) 言うて。くだもん (果物) でも なん (な
に) でも ぶんぶんな (黄金虫が) 吸うたり (吸った
り) 虫な (が) 吸うたりしとんの (して居るのを)、
ムシクイでまあ言うて。着物でも 虫に食われて言う
て 衣魚に食われると まあ ムシクイにしたたよお
(してしまった) 言うて、虫な (が) 所々くたんのな
あ (食べてしまうのです) しいろい (白い) 虫な
(が) おってなあ (居て) そんな (それが) けえ
(毛) のもん (物) くたんのなあ しみくいやれ
(だ) まあ こや (これは) 言うて。野菜のはっぱや
どけも (葉などでも) 皆、虫な (が) くたてなあ (食
べてしまって) やとおむしや 青虫や (だ) 言うて。
いろんな (色々な) 虫な (が) おるわな (居ます)。
野菜には ひとしな (一種類) や、ふたしなや (二種
類で) 無いなあ。くろろい (黒い) のも有るし、こご
めひよひよや (米搗きバッタ) あれでもくたんの (食
べてしまうのです)。²⁾ にげ (人間) も ムシクイで
まあ言うて なんもならんもな (役に立たない者は)
ムシクイやれ (だ) 言うてなあ あのムシクイな
(が) へえん (屁に) も ならせんわ (ならない) 言
うてなあ。

むしくいば(むしくひば)(虫喰歯)【名詞】 虫歯。
(上、阿、張、名) [会話] 虫歯。ムシクイバ。わが
と (自分) 一人で 抜きおった (ました)。樋い
(へ) 糸ひつ掛けといて (ておいて) わが (自分の)
はあ (歯) えなあ しばつといて (くくっておいて)、
知らんとる (ずに居る) うちん (間に) 立ったると
(てやると) 樋で ぎゅつとして そげん (そんな
に) してなあしいおったね (して居たのです) せんぎ
り (十分) いごかしといてなあ (動かしておいて)。
下歯な (が) 抜けると 上むいて (向って) 生えて来
い言うて 屋根い (へ) ほってなあ (捨てて)、上歯
やと (だと) 下向いて (向って) 生えて来い言うてな

縁の下い (へ) ほよおったね (捨てて居たのです)。

むしぐすり (虫薬) 【名詞】 1) 小児の疳を静める薬。

2) 寄生虫を駆除する薬。[会話] ②) ムシグスリ 昔 やなあ (は) 蛔虫な (が) よけ (沢山) わきおってな あ ムシグスリをなあ せめんがしやたらなあ (だとか)。そして がっこ (学校) の 子らな (子供達が) ちゅうしんぼ (通信簿) へ 1や2や3や言うて もろて (貰って) 来るやんない (でしょう)、そすとな あ むしくだしばっかやんかあ (ばかりでないか) さんとにいばっかやんかあ (三と二ばかりでないか) 言よおったの サントニン。

むしくだし (虫下) 【名詞】 1) 寄生虫を駆除する薬。

ザクロの根を煎じる。(三重県全域) 2) 学校の成績 2と3の多い事 サントニン [会話] ①) ムシクダシ むしぐすりも一緒に事やわい (です)。せめんえん 言うて 菓子になつてなあ (なっていて)、昔や (は) せめん飲みおったけど (飲みましたが) サントニンを飲むとさいご (その時) どうか、おりて来い おった (来ました)、塊まっとなあ。そんだい (その代わり) 腹な (が) いと おて (痛くて) まいきってく程痛いぬ (のです) その虫な (が) よけ (沢山) おると痛いし おらせんと (居ないと) 痛ないんけど なあ (のですが)。

むしくつとる 1) 熱中している 夢中になる 2) むしっている (志 (布施田)) [会話] ①) いっしょけんめでしとる (一生懸命でして居る) 言う事や (です)。いっしょけめで、ムシクッテしたや (したら) 肩な (が) 張って言うて。ムシクットル言うな (のは) いっしょけんめん なつとる (なつて居る) 言うのや。

むしくられる 1) むしり取られる。2) 掻きむしられる。3) 激しく行われる。ならい参照 [会話] ①) 風な (が) 吹くと 屋根ムシクラレテ 草屋簷を下から ちゃちゃくらかして (目茶苦茶にして)。

むしくりやい 【名詞】 1) 喧嘩。(志 (布施田))

2) 一生懸命になる。とりやま参照 [会話] ②) 漕ぎ張りして、鰯な (が) 網の真ん中い (へ) 行くと、やっ引け言うて おめいて (叫んで) 来ると、やうちな (一同が) ムシクリヤイや (です) 逃げてかんうちん (逃げない間に) 網 揚げんので (揚げるので)。

むしくる むしり取る。(志 (布施田、片田、浜島、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、松、多、伊、北、尾) [会話] ムシクッタル (むしくつてやる) 言うて、喧嘩すると 頭の髪ムシクラレテ言うて。頭のたぶさ (頭髮の束ねたもの) 持って ひっぱんの

を (引っ張るのを) ムシクル言うて。ムシクッタンドオ (てやるぞ) ムシクラレタンヨオ (くれました)。

むしくる 熱中する。精を出す。(志、北) [会話] 仕事をいっしょけんめ (一生懸命) ですんのを (するのを) ムシクル言うね (言うのです)。今日は 仕事ムシクッテ来たれ (来ました) 言うて ムシッテしたとか ムシクッタよお まあ言うて。くたばったよお (疲れました) 言うて。仕事 いっしょけんめ しい まくった (てやった) 言うのを ムシクッテイテキタ (ておいて来た) ムシクリキットイテ来たたら (とか) 言うて。力入れて 一生けんめでする 言うわけや (事です)。仕事も ムシクッタ 一生けんめですると ムシクッテしたよお (しました) 言うて。一生けんめで 人な (が) もの言うても 返事せんとしとる (せずにして居る) ムシクットラレ (て居る) 言うて 仕事ムシクッンネナア (て居るのだ) 言うて。

むしけづく (虫気付) 【自カ五】 虫が付き始める 穀物、野菜などに害虫が付く

むしこぎ 【名詞】 櫓を漕ぐ時、掛け声を出さず、黙って漕ぐこと。[会話] ムシコギ言うのは 黙って なつとも言わんと (なんとも言わずに) 漕ぐのを。

むしさされ 【名詞】 害虫に刺されること。又刺された跡が腫れたり、痒くなったりする。[会話] はっちん (蜂に) 刺された。むかじん (むかでに) 刺されたやら (とか) 言うの。ムシササレん (に) ええ (よい) 薬やてわれ (だそうだ) 言うてなあ。はっちん (蜂に) 刺されると そこらん (に) 有るもん (物) なんでも (なにでも) ええよつて (よいから) 七品取って付けとけ (ておけ) 言うて。里芋のずいき 取って付けたりするとええんけど (よいのです)。

むしずなはしる 嫌だ。口中に虫唾が出て、吐き気をもよおす。多くは忌み嫌う時に用いる。むしず 胃内より口に酸い唾の出る事、又その酸い液 ずはツ (唾) の濁音化したものか、又ずはス (酸) と考へてムシズとする。[会話] ムシズナハシル言うななあ 虫な (が) しょんべ (小便) たれた言うてなあ 口な (が) おえとしてくんねてや (来るのです)。なんやら うずな (生唾が) 溜つてくんのなあ (来るのです)。あの人の顔見ると 嫌や (だ) 言うのを ムシズナハシル言うて むなぐるしなつて来る言うてなあ。

むしずなわく 嫌らしく感ずる。嫌だ。好かない。[会話] 前に出た 虫な (が) しょんべ (小便) たれる言うの、喉、なまつばな (生唾が) ねばつて来ると おえおえとして来んの (来るのを)。なまつばな

(が) たまる言うのなあ (のです) なんやら (何か) ものすごお (大変) 気持ちな (が) わりの (悪いのです)。口の中で わやわやとして げえげえ言うてやってくんね (来るのです)。その気持ちのわりの むしずなはしんの (走るのは)。ムシズナワク 言うな (のは) 夏蜜柑喰うても (食べても) 生唾な (が) わいて来る、あんなよおな感じやけど (だが) あれよりは まだ わりわい (悪いです)。あれの気持ちのわりのなあ (悪いのが)。嫌いなもん (物) を食べると ムシズナハシルよおん (ように) するもんでやろなあ (するのでしょうか)。嫌いや (だ) 言うだけでは 使わせん (使いません)。言わせんけど (言わないが) 食べて見て ムシズナワク言う人も有るし (有ります)。嫌いな時 むしな (が) 好かんね (好かないのだ) 言うて、にげ (人間) でも すかんにげやなあ (嫌な人間だ) 言うて 嫌いや (だ) 言うのやし (です)。

むしずる【名詞】 小麦等、穀類につく虫の分泌物で、穀類の粒がつながっている状態。(鈴市) [会話] 米や (とか) 麦な (が) つなごんのおを (連なっているのを) つなぎ虫ななあ (だ) すごみたよなのおな (蛆のようなのが) おつてなあ それい (へ) 虫糞な (が) ついて、吊げると 引っ張ってなあ (ていて) 虫糞一杯してなあ それを ムシズル。

むしだす むしおこす参照 1) 子供が苛らついてケイレンを起こす 2) 非常に驚く 3) 食欲を刺激する

むじな【名詞】 1) タンポポ。(三重県全域) 2) 狸。(志、鳥、伊) [会話] ② 同じ ひとあな (一穴) の、ムジナやれ (だ) 言うて、狸やら (とか) 狐やら (とか) の よお (よく) 似たのやんかい (です)。にげ (人間) でも なんやかや (いろいろ) 言うて、相談して わり (悪い) 事したりすると あいら (彼等は) まあ ひとあなのムジナやあれ (だ) 言うて。

むしなええ 厚かましい。[会話] あや (あれは) あんまり (あまり) 虫な (が) よすぎるわい (よすぎます) 言うて。なんやかや (何、彼) 無理な事言うたり (言ったり)、言いのくい (ぬくい) 事言うたりしても、あんまり、そや (あまりそれは) ムシナエエやんかい (でないか) 言うて。あつかまし (あつかましい) 事言うと、ムシナエエ言うて、言うと (言えば) おつちやくな (横着だ)。あんまり お前 (君) そや (それは) ムシナエエわい。かつて (自分気儘) な事ばっか (ばかり) 言うて 言うてなあ (言います)。

むしなかぶった 飲食物が悪かったりして吐き気をもち

おす。むしいかまう [会話] 此のもん (物) 喰うたら (食べたら) どいらいわりわ (大変悪い) 思う時ん (に) ムシナカブッタ言うて なんか (何か) むっとしてくんねてや (来るのです)。

むしなしょんべする。むしなしょんべたれる 吐き気がして、口にすっぱい液が上がる。(志(布施田))

むしなすかん 嫌だ。非常に嫌がる。むしずなわく参照

むしなすきや かま ふんどしかいて いしばし ちだんだふむ【俚諺】 虫が好けば、鎌、禰にして、石橋、地団駄踏む。好きな事ならどんな事でもする。[会話] ムシナスキャ カマ フンドシカイテ イシバシ チダダダフム言うて。自分な (が) 好きな事やったら (だったら) どいな (どんな) 事でもする言う意味を そいな (そんな) 事言うんやわい (言うのです)。鎌禰んかいといて 石橋を地団駄踏んだら ずたずたん (に) なつてくね (なつて行くのです) どこもかも それやけどなあ (それだけど) 自分の好きな事やったらなあ (だったら) どいな 事でもする言うのを そげん (そんなに) 言うて。

むしなすく 好む すきだ 感情的なもの

むしなでる 驚く ひきつける 幼児が発熱する

むしななく 空腹 空腹のため腹が鳴る (志(布施田))

むしなはれる 気分がすっきりする。気が晴れる。[会話] 喧嘩して せんぎり (充分) 言い次第言うて、わがとも (自分) ムシナハレル程言い あつちやも (相手も) 言いして。

むしなもぎる 非常に空腹で有る。[会話] なんか (何か) おなかな (が) すくと、胸の方な (が) 変なよおになつてくんねてや (なつて来るのです)。あんまり よけ (あまり沢山) 腹な (が) へると。ムシナモギル言うのは 喰いとおて (食べたくて) 喰いとおて しよおなない (仕方が無い) 言うよおな意味やけどなあ (です)。腹な (が) へって 腹な へったなあ思うの (のを) 通りこしてくと (て行くと) 此処らの方な (上腹部が) なつちやら (何とか) して来んね (来るのです)。ものすごお (大変に) おなか すかす時な (が) 有るわい (有ります)。畑、いとるとか (行つて居るとか) 一生けんめ (懸命) 鋤使いするやんな (でしょう) そんでおつて (それで居ながら) 御飯もてかんと (持って行かず) おるやんな (居るでしょう) まあ これ しといて (しておいて) から いこん (行こう) 思うと それこそ ムシナモギッて、なつたらしてくんのな (変になつて来るのです)。腹な

へんのを(へるのを)も一つ 通り越してくと(て行く) 変なよおな 気持ちん(に) になってくんのなあ(来るのです) そいな時(そんな時) ムシナモギル言う(言います)。

むしなわり 1) 胸苦しい。2) 嫌だ。気分が悪い。
[会話] 1) ムシナ(が) ワリ(悪い) 言うのは、胸苦しい時 ムシナワリ 今日はどいらい(大変) ムシナワリワ 言うて。2) にげ(人間) すかんしと(嫌な人)を みた時ん(に) おおた(ああ) あのひた(人は) ムシナ(が) ワリナア 言うて。 ものすごお(大変) すかん(好まない) 人を。

むしにさわる 1) 腹が立つ。(上、阿) 2) 吐き気をもよおす [会話] 2) しょから(塩辛) 食うたら(食べたら) ムシイ(に) サワツク言うて、むなぐるし(吐きそうに) になって来てなあ なんやかや(いろいろ) 食べると。1) なんやかや嫌な事言われてもなあ ああ ムシイサワル言うて、疳へ(に) さわった言うににげ(人間) も有るし、ムシニサワル言うにげ も有るし。

むしのいどころなわり 腹が立って居る。気が立って居る。

むしのこ(虫の子)【名詞】 風の卵。(志(布施田)) [会話] 風の卵を ムシノコや(だ)。頭の髪い(へ) へりつけとる(産みつけて居る) と、爪で ぱっちんぱ っちん潰すのな(のが) はりやいな よかった(気持ちよかった)。つばあ(粒は、卵は) 光つとて(て居て) うつくうして(美しくて) 此れが ぼん 言うて 鳴って、髪ん(に) 付いとんのおを(て居るのを) きゅっと 引っ張って来たりしてするねけど(するので)。襟元へ 風な(が) ムシノコ こおしとるやん ない(産んで居るでしょう)。それを 潰しおったん なあ(潰して居たのです)。縫い目の方へ 皆ムシノコ へってなあ(産んで)。昔や(は) おっぱ 言うのな(のが) 有りおって(有って)、わしな(私が) こおもおけた(お産した) 時ん(に) おしめん(に) せえ(しなさい) 言うて 呉れたんけど(呉れたが) ムシノコな(が) 一杯おって 気色なわりいて(気持ちが悪くて) 死んどても(で居ても) 取っても 取れや せん(ません) 引っ付ききつとて(て居て)。寺の小母さんな(が) なぐれもんみたいん(のように) して ちっちゃい(小さい) 部屋建てて おいでしたや(ら) 呆けとて(て居て) はこまめぐり(糞まみれ) で しらめな(風が) わいて 小母さん 風な(が) ほおて来たな(来ました) 頸たまへ言うて、阿

呆 馬鹿もん(者) よ、しらめ(風) は 人間にわくもん、蚤は 畜生にわくもん(物) 言うて 言うてきおったね(来たのです)、呆けとても(て居ても)。呆けとて 着るもんでや(物と言え) びろれんみたい なの(襦袢のようなのを) 着とて 前掛けもせんと(せずに) 帯解け開け(帯も結ばず) で歩いて。なぐれもん言うて 今しで(今で) 言うて 乞食やわい(です)。

むしのしらせ(虫知) 予感 根拠が無く不安な気持ちになる

むしはぎ【名詞】 盆に精霊に供える萩 墓所萩 山萩 マメ科の落葉低木。高さ0.5～2m、葉は三出複葉、小葉は広楕円内至広倒卵形で長さ2～4cm、夏から秋にかけて葉腋から伸ばした花柄や枝端に紅紫色の蝶形花が房状に群がって咲く。豆果は楕円形で平たく、長さ巾共5～7mm。(志)

むしばむ【自マ五】 虫がつく。(鈴市) [会話] ムシバンデ来た言うて 虫な(が) わいたのおもなあ(のもの) まあ こやれ(これ) ムシバンデ来たれ(来ました) 言うし。にげ(人間) もなあ よけ(沢山) 心配事な(が) 有って くよくよばっかしとるとなあ(ばかりしていると) まあ あや ムシバンデたない(行った) 言うてなあ ムシバマレテ ムシバンドンナイ(でいる) 言うてなあ。

むしふうじ(虫封)【名詞】 小児がひきつけなどを起こさないように加持祈祷などを行うこと。[会話] ムシフウジや(は) よお来よおったやんかい(よく来て居たで有りませんか)、神さんな(が) 祈祷する事を言うんやろなあ(言うのでしょうか) 封じる言うて。

むしむし【副詞】 1) 心中おだやかでないさま。むしゃくしゃ。2) 一人黙々と。3) 気候の蒸し暑いさま。
[会話] 2) ムシムシ言うな(のは) なつとも言わんと(何とも言わずに)、食べとる(て居る) 事を ムシムシと食べとんな(て居るのだ) 言うて。なんも言わんと ムシムシと一人やらかしとられ(やって居る、食べて居る) 言うて。仕事でも なつとも言わんと(言わずに) ムシムシとしとられ(して居る) あやま あ(彼は) 言うて。1) 腹な(が) 立ったおりも(時も) おおた(ああ) ムシムシして ごおなわいて(腹が立って) 言う時な(が) あんなあ(有ります)。言葉へ 出したると(てやると) ええんけど(よいが) 言葉へ出されんで(出せなくて) おおた(ああ) あい な(あんな) 事言うたり(言ったり)、したりして、おもて(思つて) 思うのを ムシムシおもた(思つ

た) 言うて。言葉へ出されんで (出せなくて) 心でおもとる (思つて居る) 時を ムシムシおもて 言うて。
3) 梅雨の時なんか じめじめしとるのおは むさくるし ムシムシすんなあ (します) 今日は言うて。あつくろし (暑苦しい) と ムシムシと どいらい (大変) 気持ちな (が) わりなあ (悪いです) 言うて むさむさする。

むしむしおもとる 怒りを外に出さず腹の中で収めている (志 (布施田))

むしむしする 1) はっきりものを言わずに居る。怒ったように黙つて居る。2) 湿気が多く、蒸し熱いさま。
[会話] 1) 腹な (が) 立って ごおなわいて (腹が立って) 一つも (全く少しも) 気な (が) 晴れんで (なくて) ムシムシスル。言葉い (へ) 出したると (てやると) ええんけど (よいのだが) 出されやしえんもん で (出せないの) ムシムシオモテ (思つて) 言うて よお言うやんかい (よく言います)。くよくよして ごおなわいて くすぽとる (憂鬱そうにして居る) 時ん (に)、くしゅんくしゅんしてとか もやもやしてとか言うな (のは) おんなし (同じ) 言葉やけど (です)。2) 天気わりい (悪い) のも ムシムシスルナア (して居る) 言うて、あつくろし (暑苦しい) よおな 暑寒いよおな 変なひい (日が) あるやんかい (有るで有りませんか) あいなひい (あんな日) を。梅雨なんかで 今日は よお (よく) 蒸すなあ ムシムシト うとしひい (やなあ) (鬱陶しい日です) 言うて。むさつく 言うのも 一緒にの事や (です)。

むしめがね (虫眼鏡) 【名詞】 拡大鏡 ルーペ

むしもち 【名詞】 1) 癩癩持ち。気性の激しい人。(南) 2) 虚弱児。[会話] 1) ムシモチ 言うな (のは) ムシモチやなあ (だ) 此のか (子は) 言うて、あおすじな (顔面の静脈が) ひっぱって (引っ張って、膨れてよく見える状態) こや (此れは) ムシモチみたい (ような) 顔しとんなあ (して居る) 言うて。むしな (が) 出ると 此処い (額の側面へ) ああおいすじな (青い血管が) 出て、熱な (が) して来て、2) なんや 元気な (が) のおて (無くて) しとると (して居ると) ムシモチみたいな顔しとんなあ 言うて。じつきん (すぐに) 怒つて来るよおな人 ちょいとした事 (少しの事) も怒つて来るの (来るのも)。

むしもやす いらいらしている。腹立たしい。みごしらえ参照 (志 (布施田)) [会話] あっちゃい (あちらへ) 廻り、こっちゃいまあり (こちらへ廻り) しとると (していると) 姑婆な (が) はよまあ (早く) 身支

度して 畑へ出やええのん (出ればよいのに) おもて (思つて) ムシモヤシトシネけど (ているのだが)。

むしやくしやる 気分が晴れない 腹が立つ

むしやしなひ (むやしなひ) (虫養) 【名詞】 少量の食物を攝つて空腹を一時的にしのご事、又その物。(阿張、名、南) [会話] ちょいと (少し) 腹な (が) へったけど (けれど)、此 ちょいちょい (少しずつ) くところ (喰つて居ましょう) ムシヤシナイ に言うて。飯 喰う迄 早い時ん (に)、昼迄 腹な (が) へんのん (空るのに) ムシヤシナイ に ちょいと (少し) 此れ喰とろか (食べて居ようか) 言うて。ちょいと しよずみ喰い (つまみ喰い) する時 ムシヤシナイ 言うて。昼迄のあい (間) に 腹な (が) へつて来たなあ言う、昼迄 もおちょいと あいな (少し時間が) 有るし、ムシヤシナイ に 此れ ちょいと 喰とれまあ (食べておれ) 言うて。きんこ (芋の煮切干) でもあられでも ちょいと つまんで 喰うと あんだけ (あれだけ) 喰うたや (食べた) ムシヤシナイん (に) になった言う。だんが (芋の細工したものと) もてといて (持つて行つて)。

むしやぶりつく 【自力五】 1) 激しい勢いで取りつく。まとりつく。(志 (布施田)、鳥) 2) 食欲に食べる。
[会話] 1) ムシャブリツイテキタ 言うて ひつついて 来ると。小母さん、小母さん言うて こお (勢いよく近付いて) 来ると それを ムシャブリツク 言うの (のです)。懐かしのおで (ので) ムシャブリツク 時も有るし (有ります)。なんか (何か) 怖い時ん (に) 人にむしりつく とか ムシャブリツク とか言うて。怖い時でも 嬉しい時でも 相手の人に むしりついてくのを (て行くのを) むしりつく とか ムシャブリツク とか言うて。ムシャブリツイテキタ 言うて 勢いよお (よく) 抱きついてく (て行く) 事なあ 懐かし (かしい) と いきなり (急に) 抱きつくし ものが怖いと そんな時 怖いもんで (ので) 思わず知らず ねき (近く) に 抱きついてくやんな (て行くでしょう)。

むしやむしや 【副詞】 食べる様子 意地汚く食べる様 (志 (布施田))

むしよお (むしやう) (無性) 【名詞】 むやみやたらに、非常に、無性、佛性のない事。分別の無い事。

むじよおげ (うじょうげ) (無情) 【名詞】 可哀想なさま。哀れなさま。(志 (船越、御座)) [会話] ムジョウゲニ 言うて かわいそげに (可哀想に) 言うのを。可哀そげん (そうに) おおた (ああ) ムジョウゲん (に)

言うて 可哀想や(だ)言う意味や(です)。情な(が)無い 言う意味やろなあ(でしょう)無情やよってん(だから)。情な(が)のおて(無くて)かわいそげな 言う事やろなあ。衆行無情と一緒に 無情なのや(のです)。

むじょおげな【形容詞】可哀そうだ(志)

むじょおに(むしやうに)【副詞】これより上が無いとして 非常に[会話] ムショオニ腹な(が)立つ言うて よお言うやんかい(よく言います)。腹な(が)立つ時ん(に)。ムショオニ言うて ものすごお(大変)腹な(が)立つ言う事やかなあ(でしょうか) ムショオニ ごおなわいて(腹が立って)とか、腹な(が)立ってとか言う時 そいな事(そんな事)言うなあ(言います)。無茶苦茶に言うよおな。

むじよがる(無情)可愛がる。(志(御座))[会話] ムジョガル言うのは かあいがる(可愛がる)事をなあ。

むじよげ【名詞】可哀想なさま。哀れなさま。(志(片田、甲賀))[会話] ムジョゲなよおな(ようだ)言うのは、かわいそげな(可哀想な)よおな 言うの(のを)。虫 殺したり なんやかや(いろいろ)すると、ムジョゲにまあ言うてなあ かawaiiそげん(可哀想に)まあ言うのをなあ ムジョゲに言うて。

むじよれてた 無理に折れた [会話] ゆんべ(昨夜)の風で ムジョレタ。

むしりころされる 1) 非常に痒い。蚊、蚤などが沢山寄って来て刺される状態 2) 強要されて困る(志(布施田))

むしりつく【自力五】 1) 一生懸命でつかまえる。しがみつく。2) 群れ集まる(志(布施田))[会話] 1) おってくか(落ちて行くか) 知らんおもて(思って)、何かへ しがみつく言う事や(です) ムシリツク。

むしる【他ラ五】 熱中する。精を出す。むしくる参照(志、鳥)

むしる【他ラ五】 筆りとる。草、海草等を引き抜く。摘む。奪いとる。むしくる参照(志(片田、甲賀、鶴方)、員)[会話] ひじき ムシリん(に) いた(行った)とか。普通にムシンノヲ(むしるのを) むしった言うんなし(言うのですし)、むしくった言うのは力 入れてする事を、むしくる言うのな(のです)。力な(が)はいんのな(入るのです) ムシンのへ ひとつ はががかつとんね(かかって居るのです)。ひじき ムシリん(に) いこやてら(行こうとか)言うて、よけ(沢山)有って 一生けんめ(懸命) むしくり倒して来たよお(来ました)言うて、力が一つ は

いんのな(入るのが) むしくる言う事なあ(です)。ただ単に 草ムシル時でも ムシル言うし ほして(そうして)力 入れてする時や(は) むしくった言うて。仕事しても ムシル言うし(言います)。

むしろがます【名詞】 筵二枚を綴じ合わせた大きな帊、普通の帊の倍ある。はごかえ参照 [会話] ムシロガマスの どいらいの(大きいのを) 持って来といて(来ておいて) 踏んで踏んで ばたふごん(大きな帊に) なん杯有っても いっぺよい(一俵へ) 入れ込んでくの(入れて行きます)。

むしろだて【名詞】 筵で作った俵。[会話] ムシロダテ言うのは 筵を袋にのおといて(縫っておいて) それい(へ) てぐさ(天草)や 踏み込むの ムシロノタテ 一杯言うてなあ。筵 織ったのを わあ(輪)にして 継ぎ合まして なあ(縄)でして 筵一杯を袋んしといて(にしておいて) 丸く 真ん中をの(おて) (縫って) 俵ん(に) する事やなあ(です) 上はなあ 筵 当てて なあ(縄)で ロとって たあらみたよん(俵のように)して それを ムシロダテ言うのな(です)。たて言うのは たあら(俵)、むしろだあら言うのをなあ ムシロノタテ言うて。

むしわかつ 腹が立つ 気分がむしやくしゃする 腹立てる(尾)

むしん(無心)【名詞】 1) 頼み事。願い事。2) 分けて貰う事。譲ってもらう事。[会話] 1) 今日は ムシンに来たね(来たのです) 言うて 頼みに行くのをムシンに来た。金かしえ(貸せ)とか、物借るとか、その家の大事のもん(物)を 貸して貰う時ん(に) ムシンに来たんよお(来ました)言うて、借りに来たよお 言うのより(よりも) それより(それ以上) 借るのな(のが) 気の毒な時ん(に) ムシンに来たよお 言うのなあ(言うのです)。じえん(銭)でも 貸してくれ言うの(のが) 言いのくうても(言いぬくくても) ムシン言うて来たんよお 言うて ものすごい(大変) 言いにくい 時に 使う言葉や(です)。無理を頼む時 ムシンに来たよお 気の毒なけど(だが) 言うて、きがろお(気軽く) 言う時や(は) 貸してくれえ(下さい) 言うて。

むず【副詞】 少しも。全く 無垢に同じ。(志(甲賀)、鳥(鳥羽))[会話] ムズ 知らん(ぬ) 人に言うやんかい(言います)。ムズ 知らん人やけど(だが) あの人ん(に) 此れもろたんよお(貰った)とか。なんも(全く) 知らん 言う人に ムズ知らん 言う。ムズ 知らん 人に なんか頼んだとか。一面識も無

い人に言う事やわい（です）。

むすう（無数）【**名詞**】【**形容詞**】非常に沢山。数えられぬ程。がらくた参照 [会話] かぼ（膿の出る出来物）言うな（のは）ムスウに ひとかたまりん（に）なって。

むすこ【**名詞**】男性器。陰茎。[会話] 男の大事のもん（物）も ムスコ。せがれ言う人も 有るしなあ。

むずしらん 全く知らない むず参照

むずしらんもん 1) 全く面識のない人 2) 全く知識のない者 3) 全く知りません

むすだ 結すんだ くった

むすだらんかい。むすだらんかな（女性語）。**むすだらんかれ** 1) 結びなさい。2) 結んでやりなさい。[会話] 1) 前掛けのひぼ（紐）とけとんない（解けている）そやれ（それ）ムスダランカレ言うてなあ。

むすで 1) 結んで。2) 結んで下さい。[会話] 1) 結んで言うの（のを）ムスデ言うのなあ（です）。それムスデ そやれ（それ）とっとけまあ（しまっておきなさい）言うてなあ。つなげる（繋ぐ）事を 結ぶ。ひぼ（紐）ムスデ むすどけ（んでおけ）言うね（言うのです）。しばる（くくる）事を むすどけ言うて、前掛けのひぼ とけとんない（解けている）むすだらんかれ（んでやりなさい）言うてなあ。

むすでくれ 結んで下さい

むすどく 結んでおく

むすどけ 結んでおけ。[会話] しばる（くくる）事をムスドケ言うて。

むすどこ 1) 結んでおきなさい 2) 結んでおこう

むずのしろと【**名詞**】全くの素人（志（布施田））

むすばる（**結**）【**自ラ五**】糸などがもつれる。他のものと繋がりが出来る。むすばるに同じ。（張、南）

むすばれてた もつれて行った 結んで行った むすばらす参照

むすばらかす 糸や紐がこんがらかって解けなくなる。（北、鈴市、安、尾）

むすばらす 糸や紐がこんがらかって解けなくなる。縛れる。（南）[会話] ムスバレタ ていった（言うて、まつのつてくのをなあ（こんがらがって行くのを）糸な（が）まつのつてた（こんがらがった）言うのをなあ むすばってたれ（て行った）言う人も有るし むすばれてた むすばってたよお言うたりなあ。ムスボラス言うのを むすばれる言わんと（言わずに）むすばれてて言うて、まつがつてく事を。

むすばる（**結**）【**自ラ下一**】1) 糸がもつれる。こんが

らかる。（鈴市、張、南、熊）2) 婚約が整う。[会話] 1) 結ぶ ムスボル まつがかしたて言う事や（です）。まつがらかし たたよお むすばらかし たた（てしまった）言うて 糸をまつがかしたる（てやる事を）ムスボラカシタ 言うて。裁縫してめえな（目が）遠いのに 糸引くと くるくるとして むすばれてて（て行って）そすと いくら とこ（解こう、ほどこう）言うても 解けやへんね（ません）。まあ ムスボラカシタタヨオ（かしてしまった）言うて。

むすばれてた 絡んで行った 縛れた

むすばれる（**結**）【**自ラ下一**】糸や紐がもつれる。（張）

むずむず【**副詞**】何かをしようとしても出来ない状態で、もどかしがるさま。むず参照[会話] 仕事な（が）のおてしとると（無くても居ると）、仕事な（が）しとおて（したくて）ムズムズしてくんねよお（来るのだ）言うて。

むすめ（**娘**）【**名詞**】女陰 男根をむすこと言うに對し

むする むしむしする。

むせかえる【**自ラ五**】。**むせる**【**自サ下一**】咽に物がつまったり、気管に引き込んだりして大きな咳が出る。（上、阿）[会話] ムセル むしえる。なんやかやを（何、彼）引き込んだた（でやった）時ん（に）むしえた言うのなあ（のです）。お茶 引き込んだり、食べるもん（物）を 引き込んだる（でやる）時な（が）有るやんな（でしょう）その時を ムセル言うの（のです）。むせた。ムセル。むいご（麦粉）ほぼって（口に入れて。頬張る）よお ムセルやんかい（よくむせます）。あれ ほぼったと（てやると）ぶうと 吹いたて（てやって）顔中 真つ白ん（に）なんの（なるのです）。豆のこおやてやら（粉だとか）、むいごや（とか）芋の粉も ほぼりおったわ。いまめ（うばめ壺）の葉で 掬くついて（ておいて）口い（へ）入れるやんな（でしょう）、ほと（すると）むせて ぶうと 粉も 皆 吹いたんの（てやるのを）ムセル言うの（のです）。きよくばいて（焚き木おき場行って）いまめの葉とて来て（取って来て）しゃじな（匙が）無いもんで（ので）匙の代わりん（に）しおったね（して居たのです）。

むせる【**動詞**】陽気が蒸し暑い状態になる。（多、伊、北、尾、南、熊）

むだあし（無駄足）【**名詞**】訪問して目的を達しないこと。歩いた事が無益に終わること。[会話] ムダアシ踏んで言うて。あしこい（あすこへ）行たけど（が）

だれんも（誰も）おらんで（居なくて）ムダアシやっ
たよお（だった）言うて、おらだって（居なくて）損
やったなあ（だった）言うのを ムダアシしたよお
（しました）言うて。 用事な（が）出来ざった（な
かった）言う事やなあ（です）。

むたい（無体）【名詞】 1）無理。無法。むりやり、又
そのさま（松、南） 2）残酷なさま。乱暴なさま。非
常なさま。 3）劣等なさま。（北）

むたいさんぼお（無体三宝）【名詞】 無体に同じ。哀れ
な者。むたい参照

むたいな 1）哀れな（志（甲賀）、鳥、三、北） 2）
無茶だ（桑市）[会話] 3）ムタイなもんや（者だ）言
うて。はざん（駄目）と まにあわんもん（間に合わ
ない者、役に立たない者）を ムイタなもんや（だ）
言うて。なんも（少しも）仕事 よおしえらったり
（よく出来なかったり）弱かったり なあ ムタイな
もんやなあ（者だ）言うて。じい（字）も よお書か
らったり 読まらったり よおせんもん（しない者）
を ムタイなもんや（者だ）。なんも知らんねなあ
（何も知らない）あやまあ（彼は）ムタイなもんや
（だ）言うて。ムタイサンボオなもんや 言うて、よ
お言うて来るやんかい（よく言つて来ます）。ほんと
ん、なんもならんのおを（本当に役に立たないのを）
言うね（言うのです）。阿呆言うんやろなあ。ムタイ
サンボオ言うな（のは）つけ言葉。ムタイな（が）こ
おじて（ひどくなって）来ると ムタイサンボオなも
んや 言うて。あんごして（阿呆で）あんごして し
よおなないのを（仕方が無いのを）言うのなあ（の
です）。2）ムタイな事してとか ムタイな目に会わせて
とか言うて、可哀想な事したたなあ（してしまった）
言うなあ（言います）。

むたいなこと 無茶なこと。あわれなこと。情けないこ
と。失敗。（南）[会話] ムタイナコト言うのは 無
茶苦茶言う事やわいなあ（です）。鯛、六つおいとい
て（置いておいて）むたい。鯛な（が）六つ有ったや
ら おおた こや むたいなもんやなあ（物だ）言
うて。

むたいなもん【名詞】 1）憐れな者。無能な者。（志
（布施田）） 2）役に立たない物（者）。むたい。ひよ
おろくだま参照

むだがね（無駄金）【名詞】 何の効果も無く使った金

むだぐい（むだぐひ）（無駄喰い）【名詞】 1）つまらぬ
物を買つて喰う。 2）徒食い。あだぐい。何もしない
で唯食べるだけで有る事。食事や間食以外にも、しょ

っちゅう食べて居る事。[会話] 1）ムダグイして言う
て 三度の食事以外に。喰う時や（は）朝とか昼とか
晩とか言うて、決まったじき（時期、時間）に喰うの
は なんやけど、あいあいに（間間に）ムダグイして
言うて。しょかに（隙が有ると） 喰べとる（て居
る）人な（が）あるやがな（有るでしょう）。ときし
よおなしん（刻、潮、なしに、時間に関係なくのべつ
幕無しに）喰うのを ムダグイして言うて。いやしも
ん（いやしい者）は ときしよなしん 喰べとる（て
居る）人な（が）有るわい（有ります） なにかなしん
（に）。しやもんで（それで）時のもん（定まった時
間に食べる物）以外に喰うと よけ（あまり）ムダグ
イすんな（するな）言うて。

むだぐち（徒口）【名詞】 益の無いお喋り、雑談

むだごと（徒事）【名詞】 益の無い事

むだぜん【名詞】 無駄銭、使っただけの価値 効果の無
い金。

むだばなし（徒話）【名詞】 とりとめのない話、益の無
い話 雑談

むだぼね（徒骨）【名詞】 働いても益の無い事 骨折損
むだぼねおりの略

むたむた【副詞】 1）湿気が多く、体の調子が不快にな
る状態。 2）不満が多く不愉快なさま（志（布施田））

むだめし（無駄飯）【名詞】 働きもしないで食う飯。徒
食。

むだめしぐい（むだめしくひ）（無駄飯食）【名詞】 むだ
めしを食う人。働かずに生活すること、又その人。

むちゃ（無茶）【名詞】【形容詞】 程度が普通でないこと。
乱雑。乱暴。（南）[会話] ムチャな事して言うの
けんと（見当）の判らん事すんのをなあ（するのを）。

むちゃぐい（むちゃぐひ）（無茶喰）【名詞】 暴食。無茶。
程度が甚だしい事。道理に合わない事。普通で無い事。
[会話] 無茶苦茶に なんでもかんでも 皆、食べた
んのを（てやるのを）そこらに 有るもん（物）を。
そすと（すると）ムチャグイやなあ（だ）あや（あれ
は）言うて、腹しまうど（壊すぞ）言うて。

むちゃくちゃ（無茶苦茶）【名詞】【形容詞】 程度が並は
ずれて甚だしい事。（南）[会話] ムチャクチャ言う
のも 程度がはずれとる（ている）言うのを、ムチャ
クチャやなあ（だ）言うて。訳の判らん事ばつか（ば
かり）言うたり、したりするとなあ むちゃやれ
（だ）そや（それは）言うやんかい（言います）。ム
チャクチャやなあ（だ）とかなあ。

むちゃのみ（無茶飲）【名詞】 酒などを度を越して飲む

こと。[会話] 美味しいも 味無いも言わんと（言わずに）飲んで飲んで 飲みまくんの（まくるのを）ムチャノミ言うてなあ。酒飲みななあ（が）よおて（酔って）来ると 水も正味も（酒も）言わんと（言わずに）程度越えて 飲むのを ムチャノミなあ（です）無茶食いとかな。

むづかし。むづかし 1) 不可能だ。陰しい。難儀だ。（志（布施田）、鳥、三、鈴市、松、多、伊、北、尾、南）2) 頑固だ、近寄り難い [会話] 2) 六ケのかしんやなあ（菓子だ）ムツカシ。あのひた（人は）キムツカシよおな顔して ムツカシそおな顔や（だ）言うて。怒ったよおな顔しとると（して居ると）。近づきにくい人を あのひた（人は）ムツカシて（しくて）よお近づかなあ（近づけない）言うて。あのひた（人は）ムツカシヤで言うて ちよいとしても（少しの事でも）怒って来るし、ちよいと 言うても 怒って来るし ムツカシ屋や（だ）言うて。1) 仕事でもムツカシて（しくて）しぬくいなあ言うたり、此れムツカシて おらなこてん（俺の手に）あわせんわれ（合わない）言うて、仕事な（が）しぬくいのおを（のを）。じい（字）でも こいな（こんな）ムツカシ字 よお書こかれ（よく書けない）言うて。

むづかしがる。むづかしがる【他ラ五】 1) 難しいと思う。面倒だと思う。2) 嫌がる 3) 駄々を言う 4) 乳幼児の機嫌が悪く泣く、すねる [会話] 1) ムツカシガル言うなあ。キムツシガッてまあ言うて めんどくさがる（嫌がる）事をなあ。あの人な（が）とこい（所へ）これ もてたや（持って行ったら）キムツガシがってしてくれやせん（してくれません）言うてなあ せせかしがって（面倒がって）まあ言うて。

むづかしや。むづかしや（難屋）【名詞】 気むずかしい人。頑固な人。理屈の多い人。[会話] ムツカシヤやなあ（だ）言うて、むづかし事ばっかなあ（ばかり）まあ そや（それは）どおたらや（どうだ）そげん（そんなに）したらはざん（駄目だ）、ああ こげん（こんなに）したらはざん、それを こげんせえ（こんなにしなさい）あげんせえ（あんなにしなさい）言うて、わがとおもた（自分が思った）通りん（に）人を指図してなあ むづかし事ばっか（ばかり）言うの（のを）あや（彼は）ムツカシヤやよって（だから）言うてなあ。わがとな（自分の）思う事ばっか（ばかり）人ん（に）押し付けて、人な（が）こげんすると（こんなにすると）ええんな言うこた（よいのだ言う事は）取り入れんと（ずに）、わが（自分の）思う事

ばっか 言うて、小言言う人、ムツカシヤや（だ）言うてなあ。ムツカシヤで まあ あや（彼は）手でも足でも いろわれやへんわれ（触れない）言うてなあ。機嫌なわり言うんや無しん（のでなくて）なん（に）しても 人の言うたり したりする事 けちつけて人の言う事 めったん（絶対に）聞かんと（聞かずに）わがとな おもたら（思ったら）そればっか（ばかり）通す人をなあ ムツカシヤで 人の言う事聞こかれ（聞くものか）言うてなあ。

むづかる【自ラ五】 幼児が機嫌を悪くして泣く。すねる。[会話] ムツカル言うな（のは）ぐづぐづと こおななあ（子供が）幾ら たらしても（なだめても）聞かんでなあ（なくて）するのを ムツカル言うの。駄々こねる言うのなあ（です）。

むづき（機襟）【名詞】 おしめ。おむつ。（桑市、員、多、上、阿、度、伊、鳥、南）[会話] おしめの事 ムツキや（だ）言うて。ムツキも ほん（本当に）かっぱん（厚く）さいて（刺して）皆 刺子ん（に）して当てよおったの（当てて居たのです）。ソデムツキンせんとなあ（ぜずに）十文字やもんじん（＊に）刺してなあ ええの（よいのを）しやせんねよってやんない（しないのだから）。ムツキン（に）するよおなの言うて、きもんな（着物が）きやれんよん（着れないように）なってたの（行つたのを）刺すねよってなあ（のだから）ソデムツキン（に）出来やへんねやんかい（ないのです）つんで（ついで）刺さな（なければ）。

むづくり【副詞】 勢いよく起きるさま。勢いよく立つさま。[会話] 朝 ムックリ起きると 泣いとんねない（ているのだ）言うて、子供ら わるう（叱る）時んなあ（に）。朝 ムックリ起きから そげな（そんな）事して言うて 朝起きて、すぐにする事なあ（です）。むくつと起きて、仕事しとられ（している）言うて。

むづくりおき【名詞】 1) 起床直後。起きがけ。（志（布施田）、鳥）2) 勢いよく起きる [会話] 1) 朝のムックリオキから言うて、朝 早よから（早くから）なんやかや（何彼）すると、朝のごや（早朝）から言うたり（言ったり）ムックリオキから そげな事（そんな事）言うたり したりして言うて、朝 早いと。めえ（目）あいて すぐんと起きんのおを（すぐに起きるのを）ムックリオキ言うのなあ（のです）。ムックリオキタラ あげな事（あんな事）言うとんねてやら（言って居るとか）、あいな事 しとる

てやら 言うて 朝 起きて すぐん (に) しとると (して居ると)。起きて すぐ言う事 ムックリオキ トラ ぼえぼえ言うとるてやら (ぶつぶつ言って居るとか) 言うて。

むっさり【副詞】 汚い。不潔だ。むさ苦しい。はっきりしない [会話] おおた 今日は まぜ (南) の風で ムッサリと暑いなあ言うてなあ、ほかほか暑いひい (日) を ムッサリ暑いなあ言うて。はえん (梅雨) になると よお言うやんかい (よく言います) まぜな (南風が) 吹くとなあ。ムッサリしたよおな人やな あ (だ) 言うて ぶつとしたよんしとると (ようにしていると) ぱつとせんなあ (しない) 明るい事言わんと (言わずに) 暗がりよんしとると ムッサリしたよな (ような) 人やなあ 言うてなあ むさくるしい。

むっさりあつい【名詞】 蒸し暑い。暑苦しい。[会話] ムッサリアツイ言うて、あつくろし (暑苦しい) よおなひいな (日が) 有るやんかい (有ります)。むさむさと (むしむしと)。なんやら (何か) 体な (が) だるいよおな むさむさと すかん (嫌な) 日やとか (だとか) 言うて。

むっさりしとる 1) 湿度、温度共高い事 2) 無愛想なさま

むっさりする 1) 湿気が多くむれる 2) 無愛想している

むっそ【副詞】 非常に。大層。沢山。(度、北、南、熊) [会話] ムッソ やられたよお言うてなあ。むっさんこん (に) 言うたり、ムッソ 食て来たとか よけ (沢山) する事を ムッソ 言うてなあ。

むっそお(むっそう)【副詞】 滅相。めっそうの転か。非常に。たいそう。沢山。(志(布施田、国府)、尾、度、北) [会話] ムッソ オ儲けた言うやんかい (言います)。よつけ (沢山) 儲けた。金を沢山儲けた言うのを、あのひた (人は) ムッソ オ儲けたんでわれ (のだそうだ) 言うて。むさんこに言う時も有るし。

むっちゃ【名詞】【形容詞】 無茶の変化した語。無茶。道理に合わないこと。乱暴したり乱雑にしていること。程度が普通でないこと。(志、鳥、伊、松) [会話] 無茶な事する言うのなあ ムッチャやなあ (だ) 言うて まるで ムッチャやんかあ (でないか) そや (それは) 言うてなあ。

むっちゃくちや【名詞】【形容詞】 無茶苦茶の変化した語。程度が普通でないこと。乱暴、乱雑なこと。道理に合わないこと。(志(布施田)、北) [会話] ムッチャクチャ 言うのも むっちゃも一緒や (です)。それ

い しんにゅう かけんね (かけるのです) ムッチャクチャやなあ (だ) 言うて。

むっちり【副詞】 1) 肌に張りがあつて肉付きのよい事。2) 弾力の有ること [会話] 2) なんやら ねちねちしたよなのおを (ようなのを) ムッチリして 美味しいなあ言う時な (が) 有るやんかい (有ります)。じとじとして さらつとしやせん (しない) のをなあ ムッチリして こや (これは) どいらい (大変) 美味しいなあ言う時も有るわい (有ります)。1) おなご (女) の人な (が) 肌な (が) ムッチリしとんなあ (している) 言うて ちよいと (少し) 太り気味ん (に) なつたのなあ (です)。

むっつり【副詞】 おし黙って愛想の無いさま。

むっつりすけべ【名詞】 無口で普段、男女間のことなど関心がないような態度でいながら好色な人。[会話] だんまりもん (者) の 尻は臭い言うのは、それやわい (です)。だまつとておつてなあ (黙っていて) すけべ (助平) な人な (が) 有るやんない (有るでしょう)。なんも (なにも) 言わんとおつて (言わずに居て) そればつか (ばかり) えらい (大変な) 人な (が) 有るやんかい (有ります)。そいな (そんなのを) 言わせえんかい (言いませんか) ムツツリすけべ。

むっつりや【名詞】 笑顔を見せぬ不機嫌な人。むっつり、愛想が無く、黙って居るさま。口数が少なく、愛想の無い人。[会話] もの言わせん (言わない) ぶつとしとる (して居る) 人なあ (です) ムツツリや。笑いもせな (しなければ) 言いもせず 怒りもせず、ぶつとも言わんと (言わずに) あのひた (人は) 言うて。

むつと【副詞】 1) 怒って口をつくむ様 2) 悪臭熱気の立ちこめている様

むつとする 1) 急に不愉快になり腹が立つ 2) 悪臭熱気が立ち込めて居る

むつまし(睦)【形容詞】 間柄。気持ちのつながり。交際が親密である。仲がよい。[会話] ムツマシ 言うな (のは) 仲な (が) ええ (よい) 言う事や (です) 仲ムツマシク 言うやんかい (言います)。

むてつか【名詞】 手荒い者。乱暴者。[会話] むてんぼや (だ) 言うけど (言います)。あや (彼は) むてんぼで なんしたてて (何をしても) 野暮で (乱暴で) 言うて、考えんと (考えずに) むてんぼん (に) やつて来んの (でして来るので) 言うて。むてつ ぼも ムテッカ も よお (よく) 似た意味や (です)。考えんと (考えずに) なんでも (何でも) する事やよつて

(だから)。無茶苦茶に なんでもするもんで (の)
で おっちゃくよま (横着者は) おっちゃくよも (横
着者) よ言うて。

むてっば (無鉄砲)。**むてっばお (むてっばふ) 【名詞】**

【形容詞】無茶。前後をよく考えないで行動すること。
むこう見ず。(三、松、多、伊) [会話] あやまあ
(彼は) ムテッポン (に) なんもかも (何彼)、考え
なしん (無しに) 見当なしん (に) なんでもして、ム
テッポで あんなどこん (彼の所に) おると 危のお
て (なくて) 言うて。あとさき (前後) 考えんと (ず
に) こげん (こんなに) したら危ないとか、こげん
したらはざん (いけない) とか、思う考えせんと (せ
ずに) なにかななしん (に) やりっぱなすのなあ (の
を)。商売しても 当たるとも 当たらんとも 考え
んと やりきってすんの (するのを)、あのひた ム
テッポに なんもかも やりきってて (てやって) や
りとはして言うて。当たる時も有るわい (有ります)。
そいな (そんな) ムテッポなのおは (のは) のさばる
時も有るし。のさばる言うのは 失敗する 失敗や
(です)。

むてんか 【名詞】乱暴者。前後の見さかい無しに行動す
る者。(志 (布施田))

むてんぼ 【名詞】前後の考えなしに行動すること。
(多、阿、張、度) [会話] むてっばも ムテンボも
よお (よく) 似た意味や (です)。考えんと (考えず
に) なんでもする事やよって (だから)。

むてんぼな 【形容詞】無茶な (上、阿) [会話] ムテン
ボナ言うて “な” 付けると 無茶苦茶な言う事やなあ
(です)。無茶苦茶な人やよって (だから) あれ
(彼) と、仕事すると きいつけえお (気つけなさい)
あや (彼は) むてんぼで 危ない事も なんも
(少しも) 言わせんねよってん (言わないのだから)
言うてなあ。

むてんぼに 【形容詞】無茶に (上、阿)

むとお 【名詞】無頼者。むとう (無当) 際限の無い事か
らか [会話] なんの (少しの) わきまえ (判断) も、
あんねなし (有るのでなしに)、あんななあ (彼は)
ムトオなねよってん (なのだから) 言うて。

むな (胸) 【名詞】ムネの古形 接頭語として現在是用
いられる

むないた (胸板) 【名詞】胸。胸の骨が板のようになって
いるので (志 (布施田)) [会話] ムナイタい (へ)
さしこんで来てとか、突っ込んで来てとか言う人な
(が) 有るやんかい (有ります)。胸の事を ムナイ

タ言うんやろなあ (言うのでしょうか)。病気の人は
ムナイタ 突っ込んで来て 痛いとか 張るとかよお
言うやんかい (よく言います)。

むなうち 【名詞】上腹部

むながいちゅう (胸蛔虫) 【名詞】口から出る蛔虫。[会
話] ムナガイチュウ 口から出て来んの (来るのを)。
夜中ん (に) 寝とても (て居ても) 目あくと くちゅ
くちゅつと 喉こしょぐって (くすぐって) かあ言う
たると (言ってやると) 吐いとの (吐いて居ます)。
その気持ちの (が) わりのおな (悪いのが) なんとも
言われやせん (言えません) 口から 出てくんの
おの (来るのの) 気色 (気持ち) の、わりのおを。

むなかんじょ (むなかんぢやう) 【名詞】胸の中で計算
する事。暗算。[会話] わがとな (自分が) 一人でか
んじょ (計算) する事を、ムナカンジョ。わがとな
ムナカンジョでしといた (しておいた) 言うて。ムナ
カンジョな (が) えらい (上手な) にげ (人間)は
ばらばらとなあ 暗算な (が) えらいにげを (上手
な人間を) ムナカンジョな (が) えろおて (大変で)
あや (彼は) 言うて。ふくだめな (が) 三百匁で さ
ざえな (栄螺が) 幾らで 鮑な (が) 幾らで言うとも
あ それを ちゃんと 暗算でしたる (してやる) 言
うの (のです)。算盤持たんでも (持たなくても) わ
がと (自分が) 胸ん (の) 中で かんじょしたる (計
算してやる) 事を ムナカンジョ言うて。

むなぎ 【名詞】梁にする木。棟木。[会話] 棟上げ言
うな (のは) みんな (皆) 出来上ってからなあ 他処
は ムナギ上げる時ん (に) するけど (が) ムナギ上
げる時は たてまい (建前) 言うて。

むなくそ 【名詞】 【形容詞】胸糞。胸をいやしめて言う
語。気持ち。気に入らないこと。[会話] ムナクソな
(が) わりよななあ (悪いようだ) 言うて なんか
(なにか) する事な (が) まどろこい (遅い) 事する
となあ、あんな (彼の) する仕事見とると (見ている
と) ムナクソな (が) わりなつてくれ (悪くなって
来る) 言うてなあ。才智 (賢い) なにげ (人間) と、
うといにげ (鈍い人間) と 仕事しとるとなあ (して
いると) 才智なにげや (人は) むなぐるしなつてくら
れ 言うてなあ。あんな 仕事しとんの (しているの
を) みとると (見ていると) せせかし (面倒臭く) な
って来て めんどくさがって (面倒臭がって) まあ
むなぐるしなつて来る言う事やなあ (です)。

むなくそわり。むなくそわるい むかむかする。いまい
ましい。気持ちが悪い。不愉快である。(志 (布施

田)) [会話] ムナクソワリなってくられ (悪くなって来る) のそのそと言うて、むなぐるし (胸苦しい) 言うのを 輪 掛けて ムナクソワリわれ (悪い) 言うて、ややこし (面倒臭く) なって来ると。やいきなのお (元気が無く) しとると (して居ると) なんも (少しも) 仕事する気な (が) の おて (無くて) なめ つとしとんの (ぼうつとして居るのを) 見ると ムナクソワリなあ (悪い) 言うて。気持ちな (が) 悪い時 なめなめしとて (して居て) もっと さっさとしやええのん (すればよいのに) 見とると ややこし なって来て もどかしなって来て ムナクソワリなってくられ 言うて。気持ちな (が) わり なって来る。わがたそんでええ (自分はそれでよい) おもとんねけど (思っているのだが) のっそりしとる にげや (人間は)。たけらしにげや (猛々しい人は。手速い人は) くそせせかし (非常に、面倒だ) あいな事 (あんな事) こえんもすや (こんなにすれば) ええのんおもて (よいのに思つて) 気な (が) はしかい (勝っている) にげや。

むなぐら【名詞】 胸の全面。胸櫓の約、或は胸座の義 (大言海) [会話] ムナグラ とつつかまえて 喧嘩するやんかい (します)。ムナグラを ひつつかまえて 夫婦喧嘩な (が) 始まった言うて。なあごお (長く) 猫こおとると (飼っている) 猫は執念な (が) 深いやんない (でしょう)。そやよつて (だから) 猫は 長い事飼うな言うて。猫な (が) 婆とおつたや (居たら) 猫な (が) 婆やん おんな (俺が) 忠臣蔵して見せるよつてん (から) 爺やんな (が) 来ても言うなやあ (言うなよ) 言うて、猫な (が) 忠臣蔵して 婆ん (に) 見せとて (ていて) したや (そうしたら)、婆、感心して見て、して (そうして) 爺やんな (が) 来ても言うなや 言うのん (に) 爺やんな (が) 来たや (来たら) すぐん (に) あんのお 爺やん ゆんべや (昨夜は) 猫な (が) ちゅ言うたや (言ったら) ムナグラ きゅっと かぶりついて 殺したたんでわい (殺してしまったそうです) 婆を、言うな 言うのん なあ (言うのに)。

むなぐるし【形容詞】 1) 吐き気がする。胸苦しい。
2) 動悸がうつ [会話] 1) 胸な (が) むかむかして 吐き気なして来るよおな時を ムナグルシ言うの なあ (のです)。あの人 ムナグルシよおななあ (ようだ) 言うて 嫌いな人見ると。むしなかぶる言うのな (が) ムナグルシ。むしなかぶつて ムナグルシで言うて、吐き気な (が) する。なめなめしとんの (のろして居るのを) 見ると はがい (歯がゆい) て

はっきりしやええのん (すればよいのに) 見とると ムナグルシよおななあ (だ) 言うて。笑止で あんげんしたや (すれば) ええのん、あいな (あんな事) より よおせんねかいなあ (出来ないのか) おもて (思つて) ムナグルシよおななあ あの人見ると言うて。

むなげ【名詞】 胸毛。胸に生える毛。[会話] ムナゲ そよがせ 泣く ひぐらしの言うてなあ。鳥な (が) きい (木) へ 据つとて (止まっついて) ムナゲを 風にそよがせて言うの。胸のけえ (毛) をなあ、にげ (人間) でも よつけ (沢山) 生えとる (ている) 人 な (が) 有るなあ。

むなさおぎ【名詞】 むなさわぎに同じ。

むなさき【名詞】 鳩尾。みぞおち。胸先。(阿) [会話] ムナサキい (へ) 突きやげて (突き上げて) 来て言うて、みぞおちの事やわい (です)。痛い言うねやろな あ (言うのでしょうか) ムナサキ痛なつて来たんよお (来た) 言うて、胃な (が) 痛いよおん (に) して来た時でも ムナサキな (が) 痛い言うわい (言います)。ムナサキ な い となつて来たねよお 胃な (が) わりんかいなあ (悪いのか) 言うて。

むなさわぎ【名詞】 胸騒。凶事の予感として、なんとなく心が穏やかでないこと。[会話] ムナサオギな (が) してなれ言うてなあ。なんか (なにか) 心配事な (が) 有るとなあ。おおた そげな (そんな) 事な (が) あんねやら (あるのか) なんやら (なにか) ムナサオギな (が) して、動悸な (が) 打つて えらい (大変だ) 言うて。心配になつてなあ なとするやか (どうしようか) おもて (思つて) はつと思う時んな あ (に) ムナサオギな (が) して言うてなあ。ムナサワギ言うのを ムナサオギな (が) して。

むなざんよ【名詞】 胸算用。心の中で見積りを立てること。あらかじめ費用を考えること。[会話] ムナザンヨ言うのは わがと (自分が) 人ん (に) 言わんと (言わずに) 心の中で 算盤する事を ムナザンヨ言うやんかい (言います)、かんじょ (計算) する事を。

むなし【空】【形容詞】 無情なさま。[会話] ムナシ言うな (のは)、ムナシがつて言うやんかいなあ (言います)。淋しいよおな、悲しいよおな ま ごつた返しみたよな (まざり合ったのような) 事やなあ (です)。ムナシテ まあ言うて 悲しい事な (が) 有るとなあ。

むなっぱら【名詞】 上腹部

むなづもり【名詞】 胸積【名詞】 表に出さず心の内で予定して居るさま

むなばなれ【名詞】 死後四十九日目に死者の霊が家を離れると言う(志)

むなぶくれる【自ラ下一】 1) 食べないのにすでに腹一杯になった感じ。満腹感。(志(布施田)、員) 2) 食べ過ぎ。[会話] 1) ムナブクレテ来てまあ、芋やどけ(など)、餅よけ(沢山) 喰うと みよおな(妙、変な) よおん(に) になって来ると ムナブクレル言うて。胸な(が) やけんのとも(やけるのとも) 又違うね(違うのです)。喰い過ぎる 喰い過ぎた事やなあ(です) ムナブクレンナ(れるのは)。いつ迄たっても 時期な(食事時が) 来ても へってかんと(空腹にならずに) つかえたよおんしとて(に)して居て そいな(そんなのを) ムナブクレル言うて。おいしい、おいしいおもて(思って) よけ(沢山) 食べたると(てやると) ムナブクレテキテ すい(酔い) げっぶな(嘔気が) 出てくんの(来るのです)。思わず知らず 喰たんのかいのお(食べてしまうのでしょうか) あいな時や(あんな時は) しとぼじして みとりぐいで 見とるとさいご(見て居ると) 喰たんのなあ(食べてしまうのです)。口にあえても(飽いても) 目にあかん(飽かない) 言うて、たんのすんねけど(堪能、満足するのだが) 腹は膨れとても(て居ても) 目な(が) たんのしやせんのなあ(満足しないのです) 見とると(て居ると) 喰うきいんなってくんのなあ(気になって来るのです)。そやよって(それだから) 昔の人な(が) 口にや(には) あえども 目にや あかん言うて、よけ(沢山) 喰い過ぎると そげん言うやんかい(そんなに言います)。ひとぼじれる。人につられて 人な(が) 喰うもんで(ので) わがとも(自分も) も一つ喰お(食べよう) おもて(思って) 喰うと ひとぼじれて 喰うたや(ら) ムナブクレテキテ 言うて。

むなむし【名詞】 口から出る蛔虫。(尾) [会話] むながいちゅうの事かい(ですか) ムナムシ。

むなもと【名詞】 1) 胸。2) みぞおち。[会話] 2) ムナモトな(が) わり(悪く) になって来た言う時も有るなあ(有ります)。むなさきも ムナモトモ 一緒や(です)。年寄りな(老人が) 言うな(のは) かたこと みたいん(片言の様に) 言うて来て、判らな(なければ) いん(犬) の蚤で 噛み当てときやええね(ておけばよいのです)。いんの蚤で噛み当てる言うて いんな(犬が) 無茶苦茶噛んどると(で居ると) 蚤な(が) 当たんねやろなあ(当るのでしょうか)。無茶苦茶ん(に) しとても(して居ても) たまん(時と

して) 当たんのを(当たるのを) いん(犬) の蚤で 噛み当てた言うて。

むなもとなくるし 動悸がする。吐き気がする。むなぐるし。[会話] ムナモトナクルシ言うて、吐き気な(が) する事やろなあ(でしょう)。吐き気な(が) して来ると むなぐるしな^て来て言うけどなあ(言います)。むなぐるして まあ 口い(へ) つばきな(唾が) 溜って来て言うけどなあ。

むなもとなわり 胃が不快だ。[会話] ムナモトナワリ言うの(のは)、胃な(が) わり人やろなあ(でしょう)。ムナモトな(が) わりなあ(悪いのは)。

むにこ(無二膏)【名詞】 膏薬の名称。ひび、あかぎれなどに効ありと言う。[会話] 膏薬。昔や(は) できもんな(出来物が) 出来となあ ムニコ 二銭で貝ん(に) いっとんの(入っているのを) くうろいの(黒いのを) こおて(買って) 来てなあ。それ にり紙い(和紙へ) 延べて はよおったの(貼って居たのです)。膏薬 ムニコ 一貝 喰うたよお(食べてしまった) 言うて。そして まあ 膿んで来やせんよ^て(来ないから) ムニコ 付けといて(ておいて) その真ん中へ ちよいと(少し) 十薬をなあ 焼いたのおを(のを) 付けといて(ておいて) すると、ま すぐん(に) ばあと 口な(が) あいてくんの(来るのです) 腐らかすねなあ(腐らすのです) 十薬はなあ。それや なめくじとて(取って) 来て さと(砂糖) ちょおいと(少し) 落したと(てやると) なめくじな(が) まあ 溶けて なめん(粘液に) になって その なめなめ(粘液) 取って むにこの真ん中へ付けるとなあ 口な(が) ぽおんとあくの(のです)。

むね【名詞】 心。胸中。心の働き。[会話] にげ(人間) のムネの内は 口い(へ) 出して言われん事(言えない事)、心の中で おもとる(思っている) 事。心の内 人にや(には) 判らせん(無い) 言うの(のです)。言うたると(言ってやると) ええねけど(よいのだが) 言われやせんと(言えないと) 心の内な(が) さばけやせんのなあ(晴れないのです)。“口で言わねど 心の内 ごすい(水) の流れや(だ) こりや娘” 言うのも一緒に 来い言われやへんの(言えないのです)。くよくよしとる時ん(して居る時に) わがと(我輩、自分が) おもた(思った) 事言うたると ええねけど 言われんと最後(言えないと) 心の内な(が) なんやら(何か) 暗がりよおん(に) しとて(して居て) そいなのお(そんなのを) 言う時ん(に)。

むね (棟) 【名詞】 切れ物の刃の反対側。みね。(津)
[会話] 鉈鎌言うな (のは) 普通の草刈り鎌より ムネな (が) あつついの (厚いのです)。薄刃 (菜切り包丁) と鉈の違いで ムネな (が) あつついの。

むね 【名詞】 峰 (志 (国府、鶴方)、鳥 (桃取、加茂)、員、三、鈴市、鈴郡、一、松、上、阿、張、名、度、伊、南、熊)

むねあげ (棟上げ) 【名詞】 家を建てる時、柱や梁など骨組みが出来て、棟木を上げる事。建て前。(志 (片田、畔名、志島、国府、的矢、甲賀、船越、鶴方)、鳥 (坂手、答志)) [会話] ムネアゲ 新築したおりなあ (折、時です)。家 建てると ムネアゲ して餅 撒いてしよおったけど (して居ましたが) 今しや (今は) 弥宣さんに 拂いしてもおて (もらって)。

むねくそ (胸糞) 【名詞】 【形容詞】 胸。気に入らないこと。むねは添語 (大言海) (志 (浜島)) [会話] ムネクソ わり、むなくそわり言うの (のです)。めんどくさい (面倒臭い) にげ (人間) をなあ とろくそ おて (鈍くて) すると、あんな (彼の) する事、見とると (見ていると) ムネクソな (が) わりなっくら (悪くなって来る) 言うの (のです)。

むねつく 驚いて心中が動揺する。動悸がうつ。驚く。
むねをつく [会話] びっくりしたんよ お (驚いた) 言うのを ムネツク 言うのなあ (のです)。

むねなやける 胸やけがする。胃液が逆流する。
(志 (片田、甲賀)) [会話] 胸な (が) じっきん (すぐに) 焼けて来る。いいな (胃が) わりんかいな あ (悪いのでしょうか)、甘いもん (物)、饅頭をふたあつ (二つ) 位くたると (食べてやると) ムネナヤケ テクンネ (来るのです) 食う時は 美味いおもてなあ (思っ) まあ 止めとこ (ておこう) おもても (思っても) 美味いもんで (ので) くたるとやんない (食べるでしょう) そすと ムネナ ヤケテくん のなあ (来るのです)。芋 食うと 必ず ムネナヤケンナア (ます)。

むねなわり 胸苦しくなる。嘔吐しそうになる。吐き気をよおす。むかつく。むなもとなわり参照 (志 (布施田)) [会話] むなぐるしわれ (です)。ムネナ (が) ワリワレ 言うて むなぐるし なって来ると。
胸苦して (しくて) ムネナワリ 言うて 船酔いすると胸苦して ムネナワリイテ (悪くて) げえもおすやんない (嘔吐するでしょう) あいな時ん (あんな時に) 胸苦し言うのなあ (のです)。吐きそおになって来んのを (来るのを) 胸苦し言うて。汚い物を 見た時も

胸苦し言うて 胸苦しなつて来たよお あれ 見たや (ら)。猫の死骸やとか (だとか) 犬の死骸やとか 見ると 又胸苦しなつて来るやんかい (来ます)。

むねまつり (棟祭) 【名詞】 新築の家の完成を祝う祝い。屋根の上に幣を乗せる (熊) [会話] 家 建てるとなあ 出来上がると ムネマツリ もせんとおんのん (せずに居るのに) 入って言うてなあ。入るとこな (所) が 無い家や (は) ムネマツリ もせんとおるけど (せずに居るが) ちよいと (少し) 仮り移りしよおや (しましょう) 言うて する時も有るなあ (有ります)。
ムネマツリ 言うて 家な (が) 出来上がった時んなあ (に) 大工さん呼んでなあ 御神酒して 拂いしてもろてなあ (貰って)、ゆり頂く言うて、お大工 (大工の頭領) の嬢な (が) 屋根い (へ) 上がって 餅 撒く時ん (に) そげんしいおったけど (そんなにして居ましたが) 家な (が) 出来上がって 入る時ん (に)。

むねむし (胸虫) 【名詞】 口から出て来る蛔虫。[会話] ムネムシ 言うのも むなが いちゅうの事やなあ (です)。

むねをつく (胸を突く) はつとする。驚く。思いが急に つのる。[会話] おどけて (驚いて) ムネツイテ 悲しい時や (とか) びっくりした時 ムネツイタンヨオ (突きました)。今日は こおこおで あげん (あんなに) 言うて来て言うて、びっくりした時ん (に) ムネツイテ 言うて。急な時ん (に) しらせ (通知) 聞くやんない (でしょう)。何処の人な (が) 死んでたん てわれ (死んだそうだ) とか、病院で 手術すんねてわれ 何処そこから落ちて 怪我したんてわれ 言うて 聞いた時ん (に) おどけて (驚いて) ムネヲツイタンヨオ 急で言うて。びっくりしたんよ お (した) 言うのを ムネヲツク 言うのなあ (のです)。

むやく (無役) 【名詞】 1) 役職の無い事、又その人
2) 仕事の無い事

むゆか (六日) 【名詞】 六日。盆の六日目。盆の精霊迎えの日 (志 (布施田)) [会話] 盆の ムユカ の 笹舟流し 八月ムユカ。六日の事をなあ ムユカ。盆の ムユカ 笹舟なあ (です)。

むゆかじお 【名詞】 干潮の六日目 一番よく潮の引く時
むいかにじお参照

むらかた (村方) 【名詞】 農村。江戸時代、山方 (山村)、浦方 (漁村)、ムラカタ (農村)。(度) [会話] やまかた、ムラカタ言うのは 百姓どこ (所)。ムラカタな (が) 言うて よお言うんよ ってなあ (よく言うのだから)。あや (あれ) やまかたの庄屋な (が) 来た

よおななあ (ようだ) 言うて 羽織の ちんちくりん
(短い) の着るとなあ。

むらき (斑気) 【名詞】 気の変わりやすい事

むらぐい 【名詞】 1) 暴食。大喰い。2) 好物は大食し嫌な物は全くたべない。大食したり食べなかつたりむらの有る事 [会話] 1) ムラグイ言うて ひとくらん (一度に) よけ (沢山) 喰うの (のを) きんぞ喰いや (だ) 言うて 昔や (は) 言いおった (言っていました)。

むらくも (叢雲) 【名詞】 変化が急な事。[会話] ムラクモみたよな (のような) にげやなあ (人間だ) 言うて、其処ん (に) おった (居た) よおん (に) 思うと、おらん (居ない) よおん なつてくと (なつて行くと) あのにげや (人は) ムラクモみたいな にげやなあ。おったおもたや (思ったら) おらんよおん (に) なつてた (なつて行つた) とか言うの (のを) ムラクモ。雲な (が) 真つ黒ん (に) なつてくんのを (来るのを) ムラクモ言うやんない (言うでしょう)。ムラクモみたよん (のように) ぱつと天気な (が) 変わるやんかな (変ります)、そやもんで (それなので) 其処ん (に) おつた思うと おらせんと (居ないと) あのひた (人は) ムラクモみたよな にげやなあ。例えん (に) よお言うなあ (よく言います)。ムラクモ言うのは 真つ黒な すすどい (煤のような) 雲な (が) もやもやして ちよいちよいつ (少しずつ) 千切れて来ると あや (あれ) ムラクモな (が) 来たれ (やつて来た) 言うて、よお言うやんかい (よく言います)。それん (に) 例えて 動きな (が) 急な時ん (に) ムラクモみたよなな 言うて ムラクモの真つ黒ん (に) なつて来た思うと ぱあつと晴れて あかるうい (明るい) 雲な (が) 出て来んねてや (来るのです)。今し (今) わろとた (笑つて居た) おもとても (思つて居ても) 急に 怒り出す時でも ムラクモみたよおな 言うて たとえんの (例えます) ムラクモに。

むらしばや 【名詞】 村で村人のする芝居。村芝居

むらなある 一様でない (志 (布施田))

むりやくたい (無理益体) 【副詞】 無理矢理、実現のむつかしい事や相手の嫌がる事を、強引に行う事。無理無体。相手の意向に逆らつて強引に行う事。(志、一、上、阿、張、名) [会話] ムリヤクタイに さされて (させられて) 言うて。何でも ややな (嫌な) 事を 此れせえ (しなさい) あれせえ言うて しやするやんない (させるでしょう)。そお言うの (のを) ムリヤ

クタイに 仕事 押し突けられて言うて。ムリヤクタイに言うて ややな (嫌な) 事をすんのを (するのを)。

むれなし むらなし。平均している事。[会話] ムレナシ言うてなあ むらなしん (に) 獲るひい (日) と、獲らんひい (日) と なしん (なしに) 平均にとてくんのなあ (獲つて来るのです)。

むれなし (群無) 遠洋にて魚群の見つからない事

むろ。**むろあじ** (室鯨) 【名詞】 むろ鯨。鯨科の魚でまあじに較べて体が丸味を帯びており、体の背部は淡黄青色で有る。稜鱗は、まあじに較べて小さく、体の後方にのみ有る。背方は青緑色、腹側は銀白色を帯び、体側中央に幅広い赤褐色で死後は、黄色になる縦すじが走る。宝津に多く獲れるので名が有る。(志 (布施田)、度、伊、鳥、尾) [会話] ムロアジや (は) 美味いけど (美味しいです) 筋な (が) 入つとて (て居て) きいよいなあ (黄色い)。

むろお 【名詞】 室。むろの延 暖気の蒸る所、又蒸れを持つ所の意 (大言海) [会話] ちやあ (茶) 蒸したり ほおじたりするのを ムロオ言うんなあ (言います)。土で どいらいくど (大きいかまど) をなあしといて (しておいて) それの下で ひい (火) 焚いといて (ておいて) 上は 鉄板みたよに (のように) しといて (しておいて) すんの (するのです)。上茶をなあ 昔や 機械や (で) 無いよつて (から) てえ (手) ですんの (するのです) ムロオでしよおつた (して居ました)。